

# Matrix Maker for KBJ シリーズ キーボード設定ソフト説明書

Product Model	Matrix Maker for KBJ60    Version:KB60S Matrix Maker for KBJ84N    Version:KB84NS
Support OS	Windows 9x Windows Me Windows 2000 Windows Vista Windows 7 (32bit/64bit) Windows 8 (32bit/64bit) Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows 10 (32bit/64bit)

## 変更履歴

版	日付	担当者	更新内容
0001-01	2018/01/16	Y. N.	初版

## 目次

Matrix Maker for KBJ60	- 1 -
キーボード設定ソフト説明書	- 1 -
変更履歴	- 1 -
目次	- 2 -
I. はじめに	- 4 -
II. ソフトウェアのインストールとアンインストール	- 4 -
II-1. ソフトウェアのダウンロード	- 4 -
II-2. インストール	- 4 -
II-3. アンインストール	- 8 -
III. キーボード設定ソフト説明	- 10 -
III-1. 設定ソフトの起動	- 10 -
III-2. 設定画面	- 11 -
III-3. 基本的なキーボード設定方法	- 12 -
III-3-1. 修飾キーの使用法とショートカットキー設定	- 16 -
III-3-2. Special Codes	- 17 -
III-3-3. Hex Code	- 18 -
III-3-4. Layerセレクト	- 18 -
III-3-5. Multiple Key	- 18 -
III-3-5-1. 1x2倍キーの割り当て方法エラー! ブックマークが定義されていません。	
III-3-5-2. 2x2倍キーの割り当て方法エラー! ブックマークが定義されていません。	
III-3-6. ASCII Code	- 23 -
III-3-7. Clear	- 24 -
III-3-8. キー設定のCut、Copy、Paste	- 25 -
III-3-8-1. キー設定の切り取り	- 26 -
III-3-8-2. キー設定のコピー	- 27 -
III-3-8-3. キー設定の貼り付け	- 28 -
III-4. キーロック キー割当て設定	- 30 -
III-5. 磁気カードリーダーデータの読み取り	- 36 -
III-6. 磁気カードリーダー読み取り表示設定	- 38 -
IV. メニューバーとアイコン	- 40 -
IV-1. File	- 41 -
IV-1-1. New - Key Map	- 41 -
IV-1-2. File - Open	- 41 -
IV-1-3. Save/Save as	- 41 -
IV-1-4. Exit	- 41 -
IV-2. Keyboard	- 42 -
IV-2-1. Update Whole Keyboard	- 42 -

IV-2-2. Update Key Mappings.....	- 42 -
IV-2-3. Retrieve Keyboard.....	- 42 -
IV-2-4. Clear Current Layer.....	- 42 -
IV-2-5. Clear All.....	- 43 -
III-2-6. Keyboard settings.....	- 43 -
IV-3. Diagnostic.....	- 44 -
IV-3-1. Enter Test Mode.....	- 44 -
IV-3-2. Exit Test Mode.....	- 44 -
IV-3-3. Set Default Value.....	- 44 -
IV-3-4. Firmware Version.....	- 44 -
IV-4. Language.....	- 45 -
IV-4-1. English.....	- 45 -
IV-4-2. Simplified Chinese.....	- 45 -
IV-5. Help.....	- 45 -
IV-5-1. About Matrix Maker....	- 45 -
V. よくある質問.....	- 46 -
VI. 保証事項.....	- 48 -
VI-1. 保証期間.....	- 48 -
VI-2. 保証対象.....	- 48 -
VI-3. 有償保証.....	- 48 -
VI-4. 仕様変更.....	- 48 -

## I. はじめに

本説明書はプログラマブルキーボード KBJ シリーズのキー割り当て等の設定を行う専用ソフトウェア Matrix Maker for KBJ の操作説明を記載しています。

キーボードを設定する場合には当該ソフトウェアをパソコン側にインストールする必要がありますが、設定後のキーボードは Windows 側の汎用ドライバを使用するため、キーボードを使用するパソコン側に別途ドライバ等のインストールは必要ありません。

※本書の各章説明は、全て「製品名 KBJ60」にて記載しております。本書を参照する場合は、ご購入いただいた KBJ シリーズの製品名に置き換えて操作をして下さい。

## II. ソフトウェアのインストールとアンインストール

### II-1. ソフトウェアのダウンロード

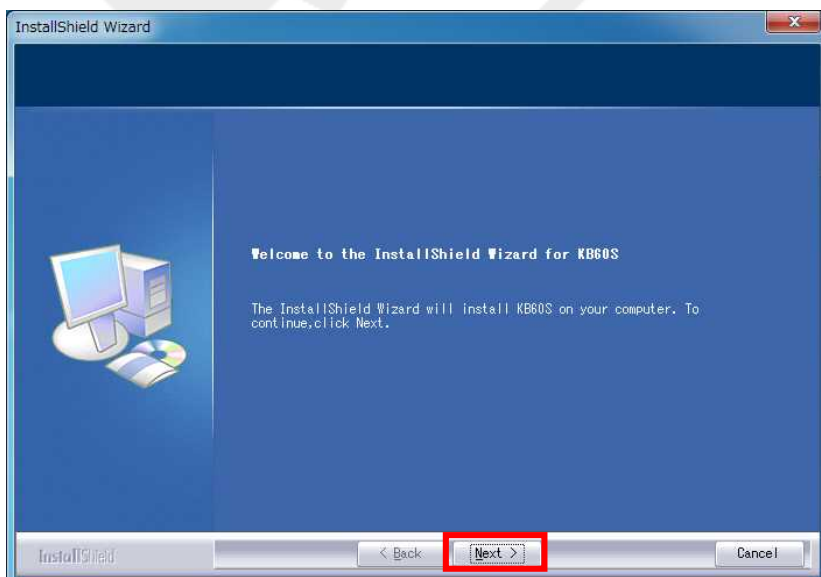
当該製品をご購入時に、弊社よりソフトウェアのダウンロード専用 URL をお送りしております。お送りした URL よりインストール用ファイル(.zip)をダウンロードして下さい。

### II-2. インストール

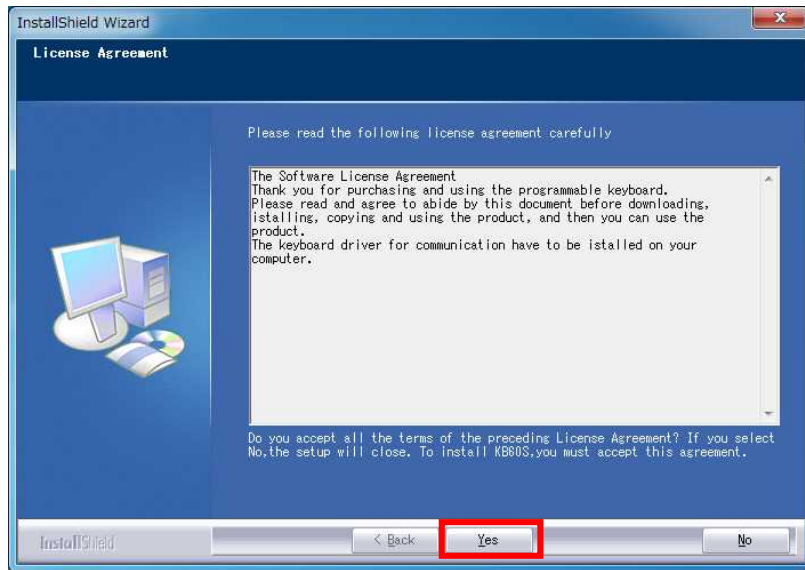
解凍したフォルダ内には、本マニュアルとキー割り当て設定ソフトの実行ファイルが入っています。以下の手順にて、インストールをして下さい。

※PC再起動の手順があるため、他アプリケーション等は閉じた状態にて実施して下さい。

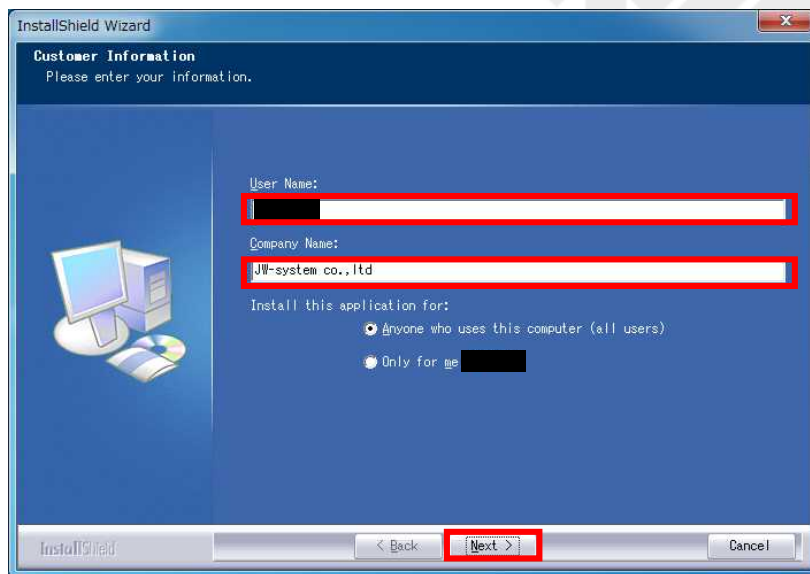
①“setup.exe”をダブルクリックすると Setup が始まり進行画面が表示されます。[Welcome to the InstallShield Wizard for KB60S]画面にて、“Next”をクリックして下さい。



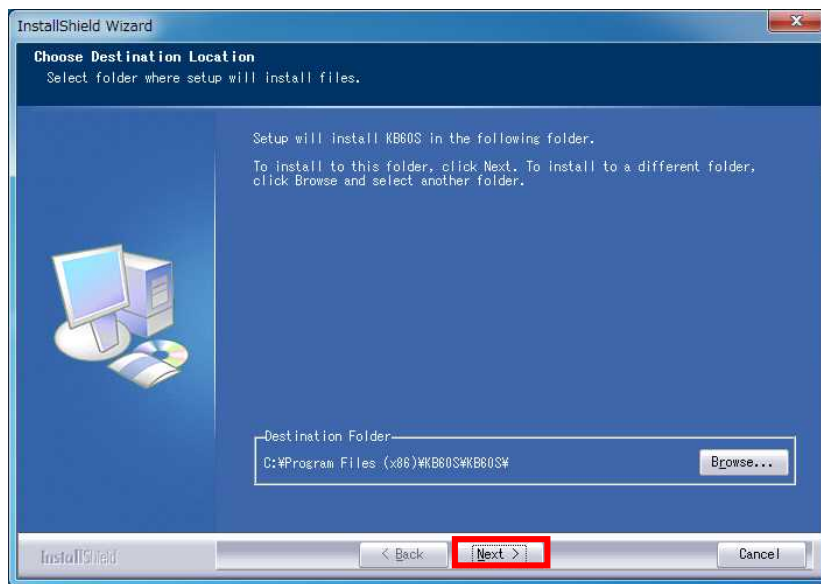
③ [License Agreement]画面が表示されます。“Yes”をクリックして下さい。



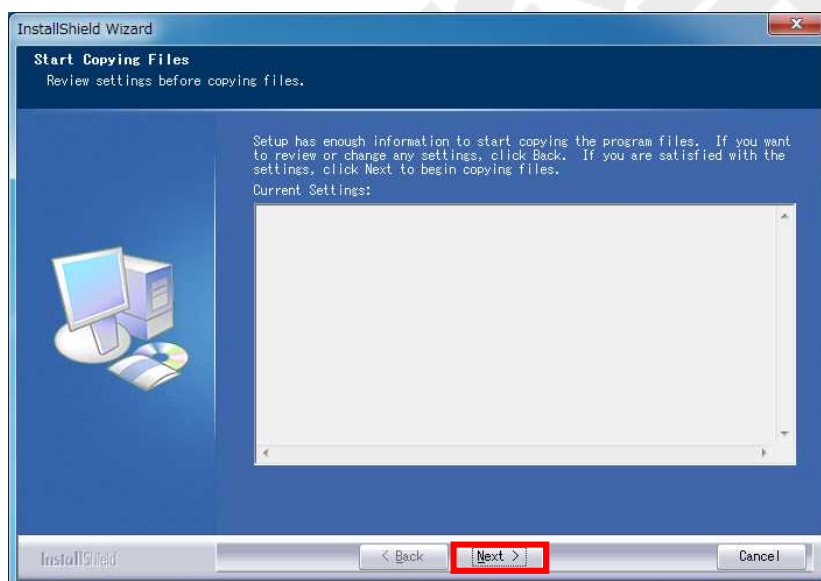
④ [Customer Information]画面が表示されます。<User Name>と<Company Name>に任意の文字列を入力し、“Next”をクリックして下さい。



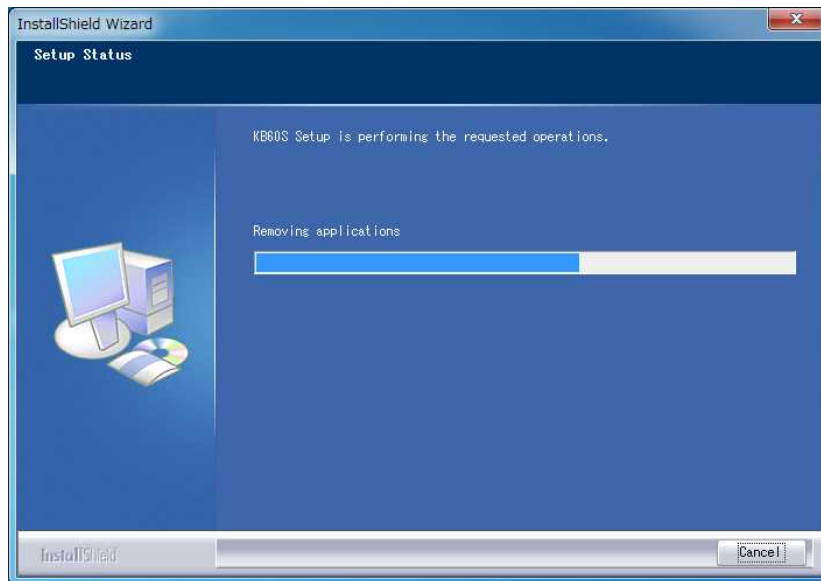
- ⑤ [Choose Destination Location]画面が表示されます。  
インストール先ディレクトリを任意に指定し“Next”をクリックして下さい。



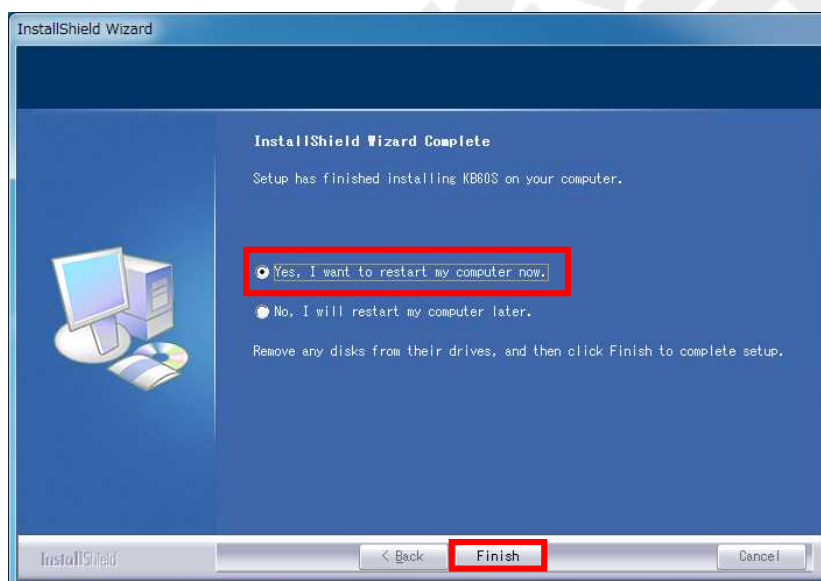
- ⑥ [Start Copying Files]画面が表示されます。  
“Next”をクリックして下さい。



⑦ インストール処理の進行画面が表示されます。

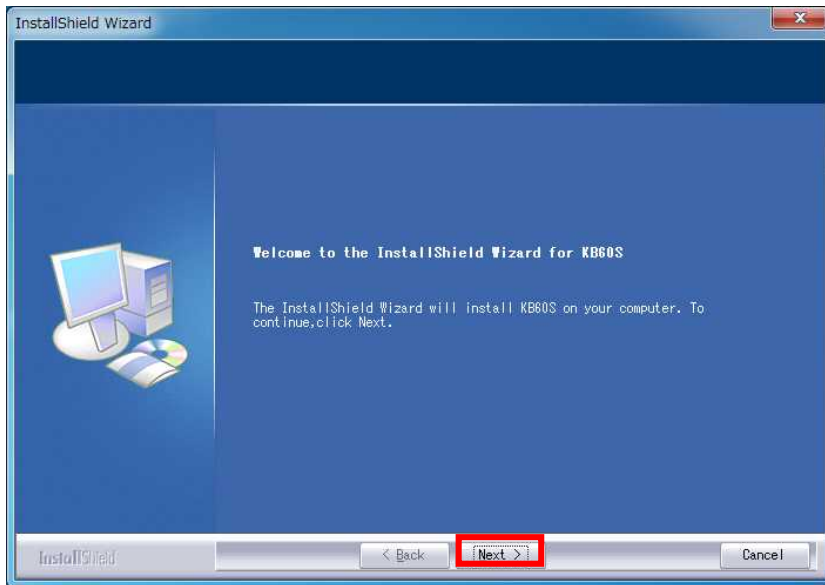


⑧ [InstallShield Wizard Complete]画面が表示されインストール処理が完了されます。  
“Yes, I want to restart my computer now.”を選択し“Finish”をクリックして、PCを再起動させて下さい。

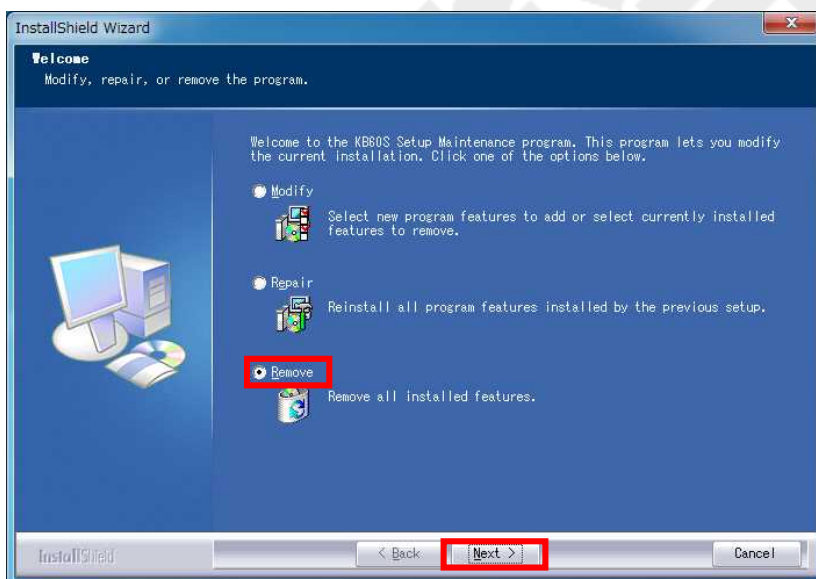


## Ⅱ-3. アンインストール

① {スタートメニュー -> すべてのプログラム -> KB60S -> UNINSTALL} を選択すると [InstallShield Wizard] 画面が表示されます。“Next”をクリックして下さい。

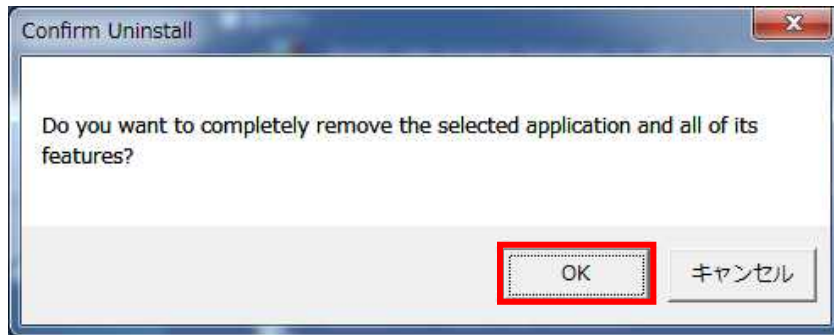


② <Remove> を選択し“Next”をクリックして下さい。

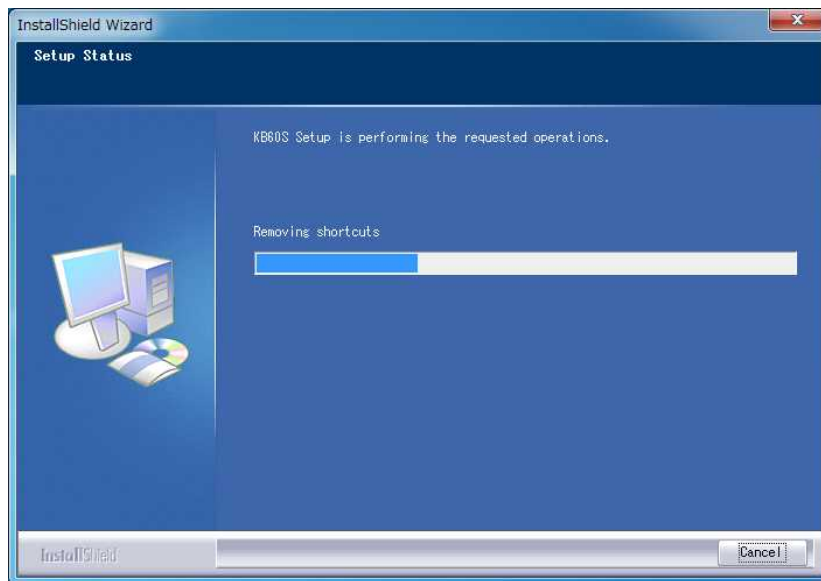




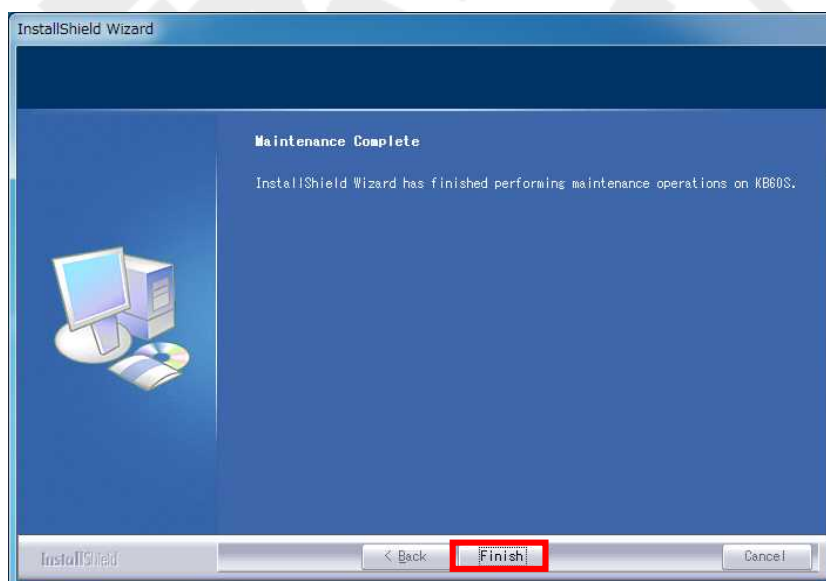
③ [Confirm Uninstall]画面が表示されます。“OK”をクリックして下さい。



④ アンインストール処理の進行画面が表示されます。



⑤ [Maintenance Complete]と表示されアンインストール処理が完了されます。“Finish”をクリックして完了して下さい。



### Ⅲ. キーボード設定ソフト説明

ここでは、ソフトウェアの使用方法を記載します。  
 ※手順は Windows7 を基として記載しております。

#### Ⅲ-1. 設定ソフトの起動

{スタートメニュー -> すべてのプログラム -> KB60S -> KB60S} を選択し、キーボード設定ソフトを起動させて下さい。

Keyboard Category 画面が表示されたら、以下の手順で操作して下さい。

- 手順 1. Interface choose 欄にて、〈USB〉を選択
- 手順 2. Available Product 欄にて、〈KB60S〉を選択
- 手順 3. Preview 欄にキーボードの画像が表示されたら〈OK〉を選択



#### 注意！



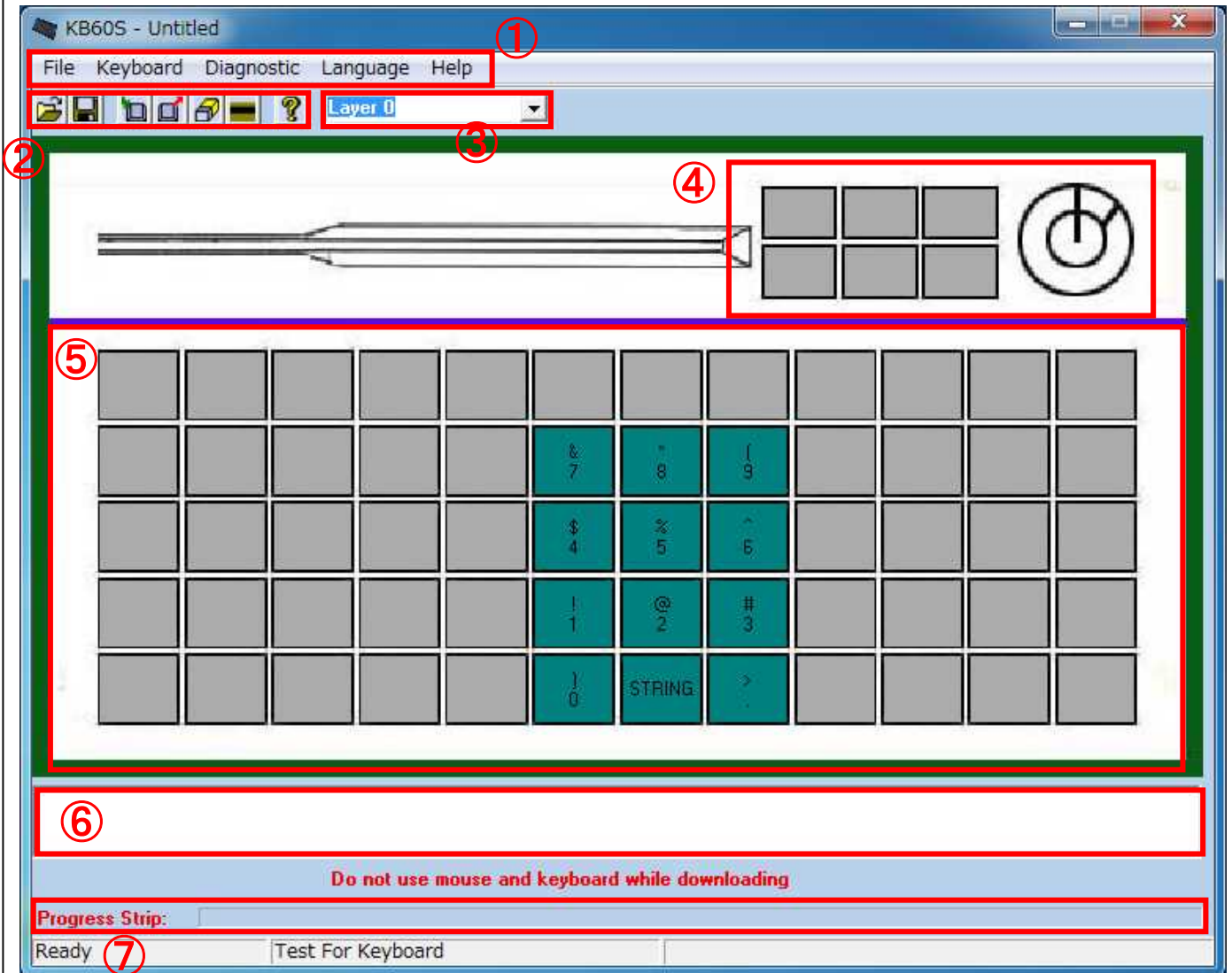
〈OK〉選択後、〈Can't find The USBHID keyboard!〉が表示される場合があります。これは PC が選択したキーボードを認識していないときに表示されます。このダイアログが表示された場合、〈はい(Y)〉を選択してキーボード設定ソフトを終了してから、USB 接続がきちんと接続されているかを確認して下さい。

また、上記状態でも〈いいえ(N)〉を選択することで設定情報の作成を続行することは可能です。その場合、作成したデータは保存し、キーボードが正常に認識していることを確認したうえで保存したデータを読み込み、キーボードへの書き込みを行って下さい。

※キーボードが接続/認識されていない状態での設定情報の書き込みはできません。

### Ⅲ-2. 設定画面

設定画面にて、割り当てたいキーに対して任意のキー設定を行うキーマッピング設定と、キーボード全般の設定を行うキーボードパラメータ設定を実施することが出来ます。設定画面の構成は以下のとおりです。

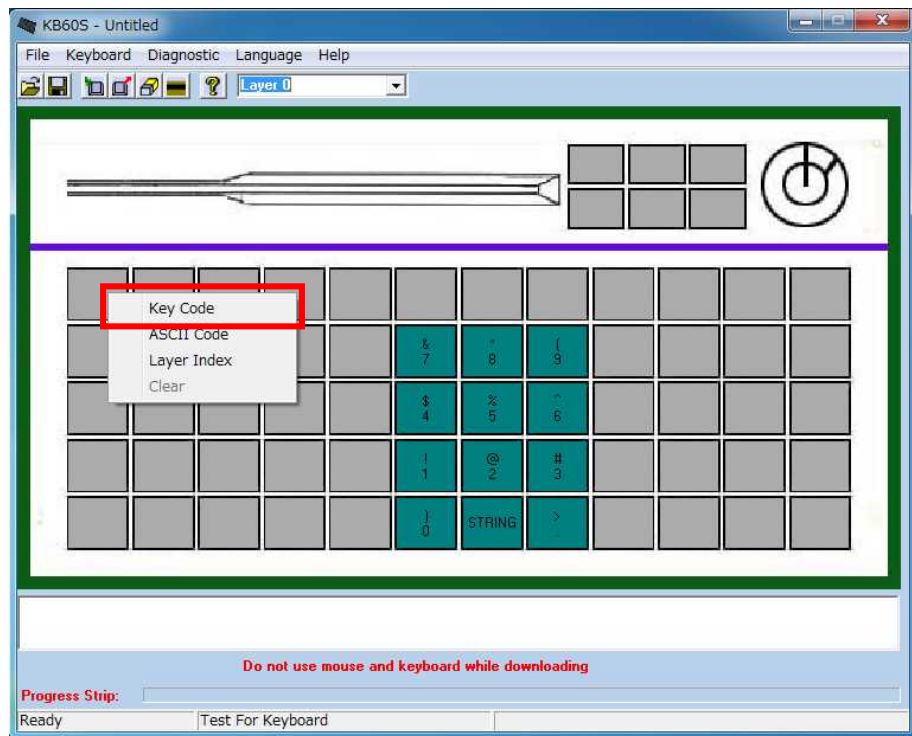


機能名	説明
①メニューバー	基本メニューを選択できます。
②アイコン	よく使う機能をアイコンで操作できます。
③Layer セレクト	Layer 設定を行う場合に使用します。
④キーロック割り当てキー	鍵の位置に対してキー割り当て設定を行います。主にレイヤー切替機能として使用します。
⑤キーボード割り当てキー	キーマッピング設定を行うエリアです。キーボードと四角がそれぞれ同じ位置のキーに対応しています。
⑥割当内容表示欄	マウスポインタを乗せたキーに割り当てられている値を表示します。
⑦プログレスバー	キーボード設定ソフトからキーボードメモリへ設定内容を読み込み/書き込みをするときに進行状態を表示します。

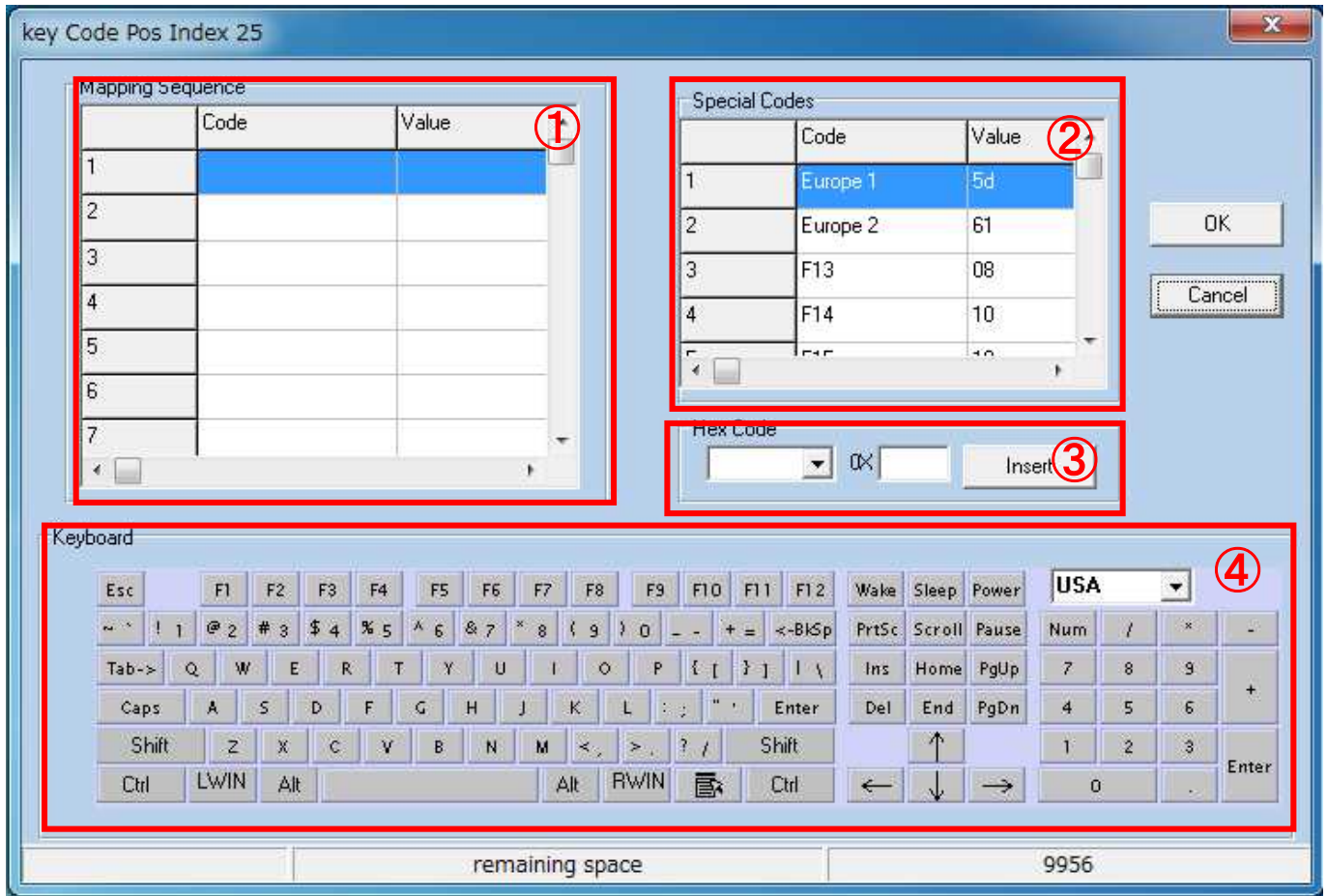
### Ⅲ-3. 基本的なキーボード設定方法

ここでは、Key Code 画面の説明と、基本的なキー割り当て設定について記載します。

- ① キーボード割り当てキーの上にマウスカーソルを乗せて、左クリックをするとメニューが表示されます。〈Key Code〉を選択して下さい。

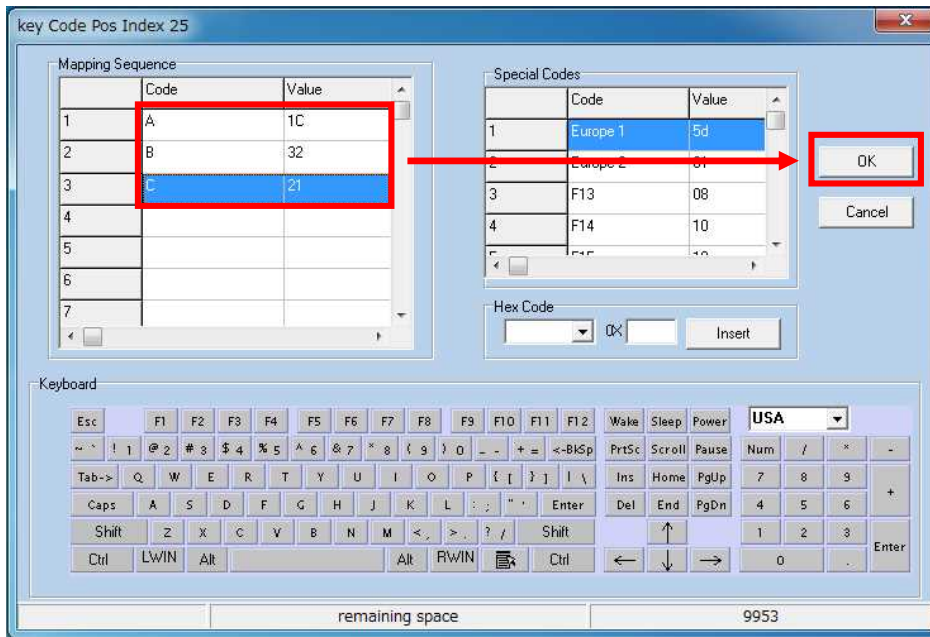


②Key Code 画面が表示されます。Key Code 画面の構成は以下のとおりです。

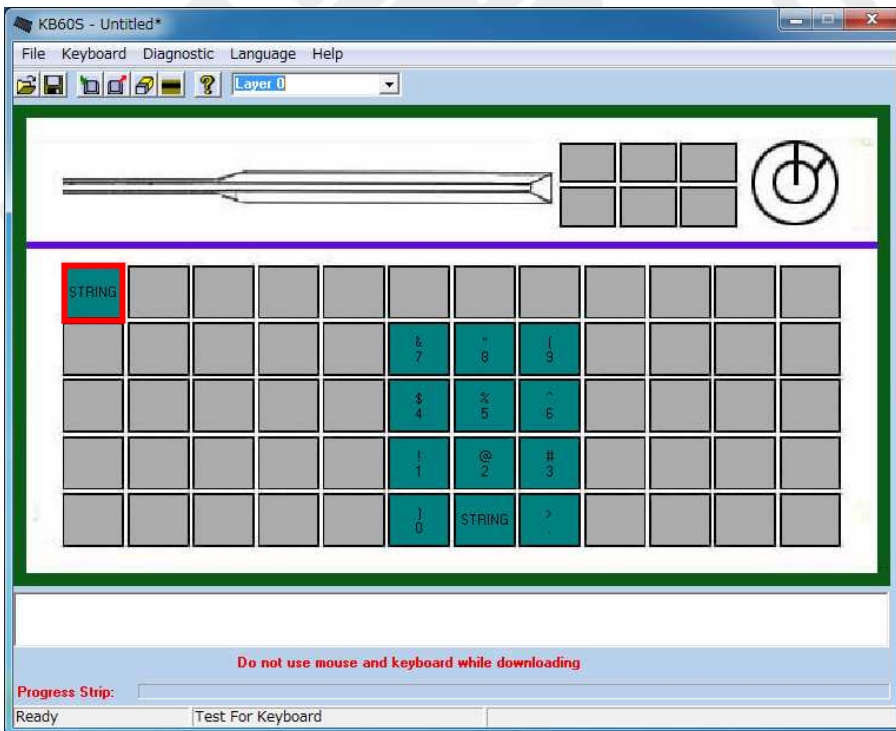


① Mapping Sequence	割り当てをしたキーコード値 (Value) が 1 から順に表示されます。各キーで最大 450byte のメモリを保持しています。また、1 キーあたり最大 180 値まで登録できます。
② Special Code	ソフトウェアキーボード上にないキーをこちらより登録できます。日本語配列キーボード特有のキー“¥”キーや“ろ”キー、また入力遅延コマンド (Delay 0.5sec) などは Special Code から登録をすることが可能です。
③ Hex Code	キーコードを 16 進数で直接入力して割り当てキーとして登録をすることが可能です。
④ Keyboard	英語 104 キー配列のソフトウェアキーボードを表示します。実際のキーボードを押下して設定する他に、このソフトウェアキーボードをクリックしてキー設定の登録をすることも可能です。このソフトウェアキーボードは日本語 109 キー配列とは異なりますため、ソフトウェアキーボード上に存在しないキーは ② Special Code より選択します。

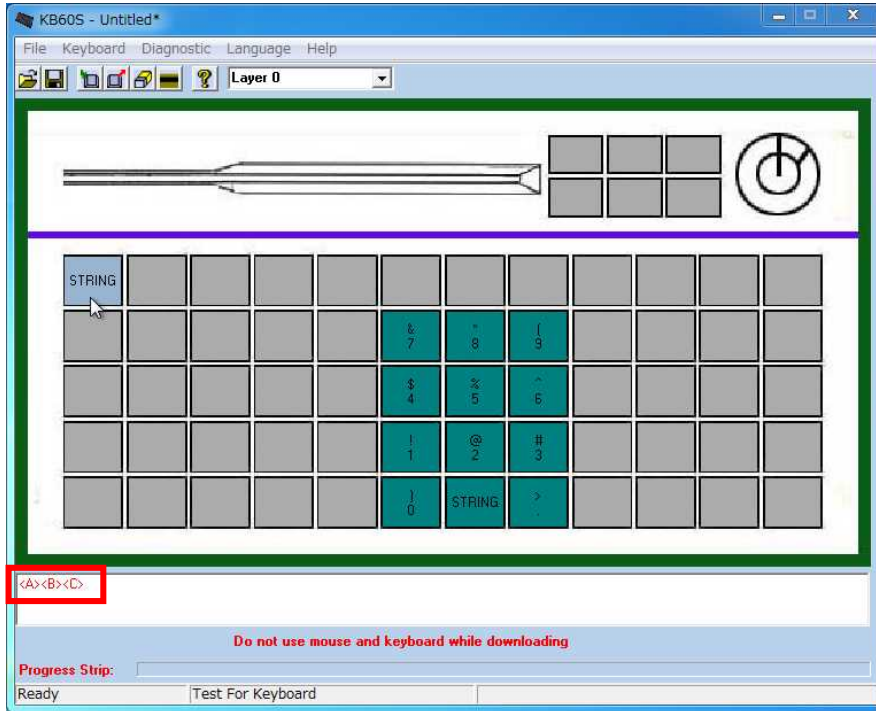
③ 任意の文字列を出力するように設定します。例として 1つのキーに ABC を割り当てます。画面に表示されているソフトウェアキーボード<Keyboard>にて、“A”→“B”→“C”の順にクリックすると、<Mapping Sequence>にクリックした順に key Code が表示されます。割り当ての内容を確認したら“OK”をクリックします。



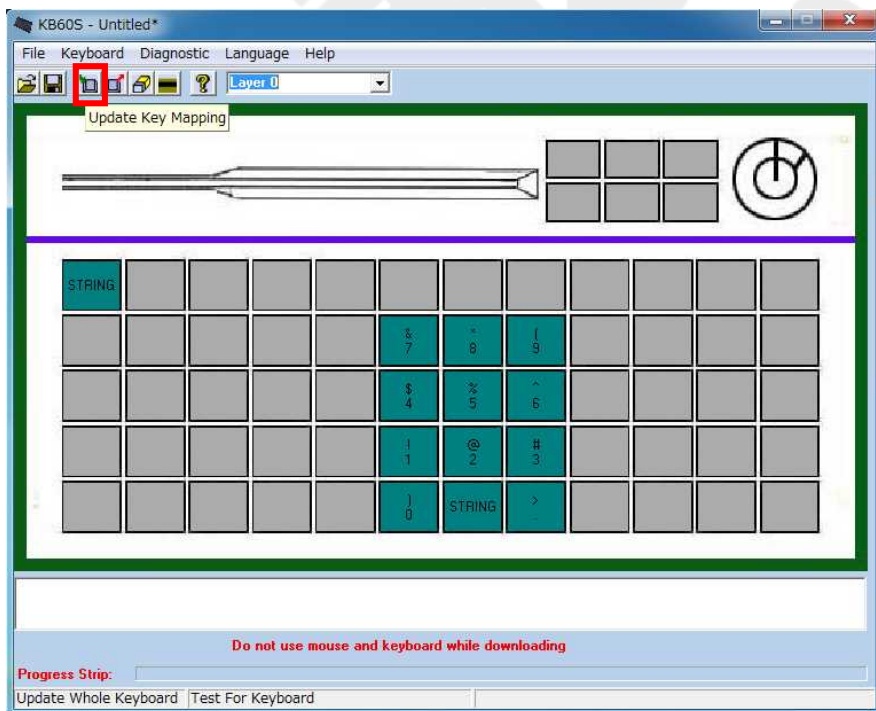
④ キー割り当ての行われているキーは、キーの色が深緑色になります。今回は設定した内容は 2 文字以上 (“A”、“B”、“C”) のため、キー上には “STRING” と表示されます。設定した内容が 1 文字のみの場合、キー上には設定した 1 文字が表示されます。



⑤キー割り当て設定をしたキーの上にカーソルを持ってくると、キーの色が深緑色から水色に切り替わります。また、画面下側の割当内容表示欄に割り当てたキー“<A><B><C>”と赤字で表示されます。



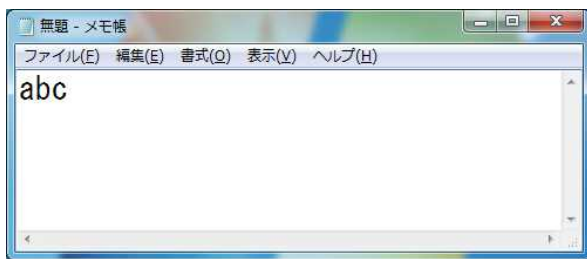
④キーボードに設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン (🔄)>をクリックして下さい。



⑤ キーボード書き込み状況が表示され、書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。“OK”をクリックし、キーボードへの書き込みは完了します。



⑥ メモ帳等を開いて、設定したキーを1度押下すると設定したキー（今回は“abc”）が表示されます。設定したキーが割り当てられているのが確認できます。



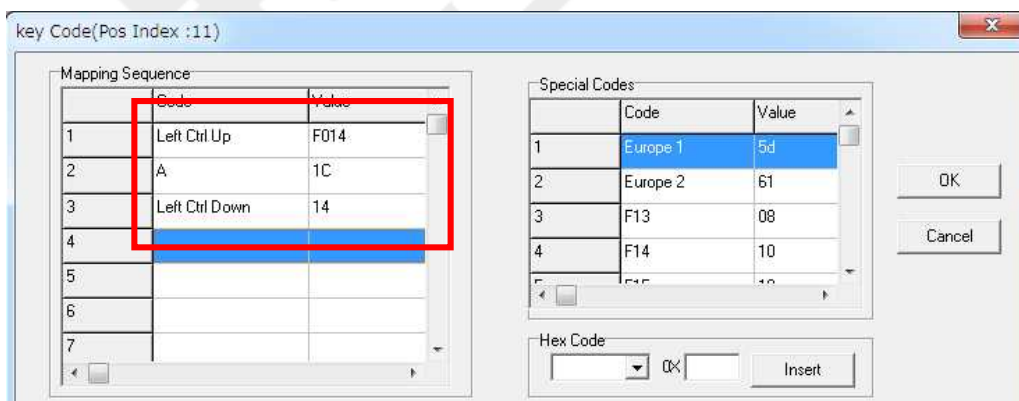
### Ⅲ-3-1. 修飾キーの使用方法和ショートカットキー設定

ショートカットキーとして使用する修飾キー（Shiftキー、Altキー、Ctrlキー、ウィンドウズキー）は通常のキーボードと異なり、キー押下“Down”とキー放し“Up”の2つのステータス設定を持ちます。ソフトウェアキーボードでこれらのキーを1度クリックすると“Down”、もう1度クリックすると“Up”が値として表示されます。

**※修飾キーは Down ステータスのままにせず、必ず Down と Up を1セットにして下さい。**

例えば、Windowsのショートカットキー Ctrl + A（すべてを選択）をキー設定する場合、ソフトウェアキーボードを使用した設定方法は以下となります。

- 手順 1. 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)
- 手順 2. A をクリック (A)
- 手順 3. 再度 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Up)



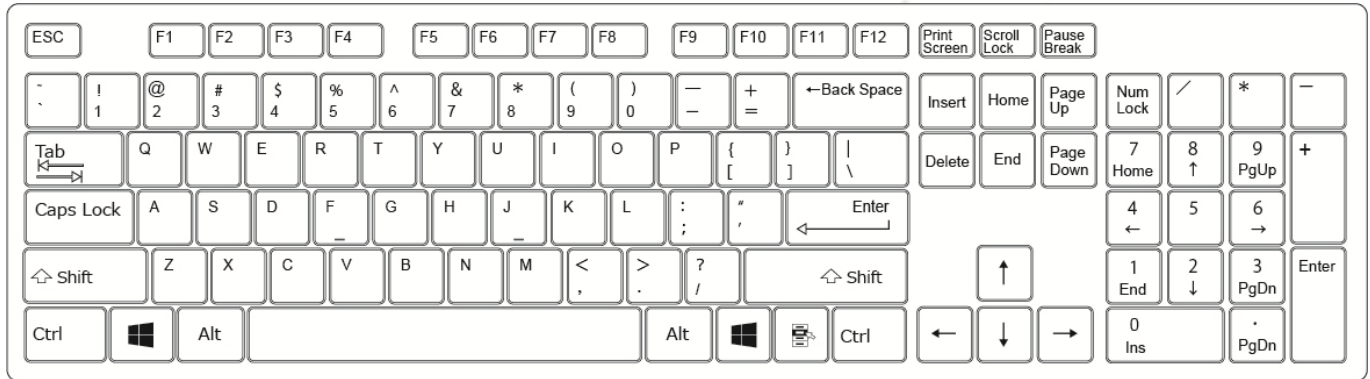
上記設定は、実物のキーボードからも設定が可能です。左 Ctrl を押しながら A を押し、最後に左 Ctrl を離すと同じ Mapping Sequence の設定となります。



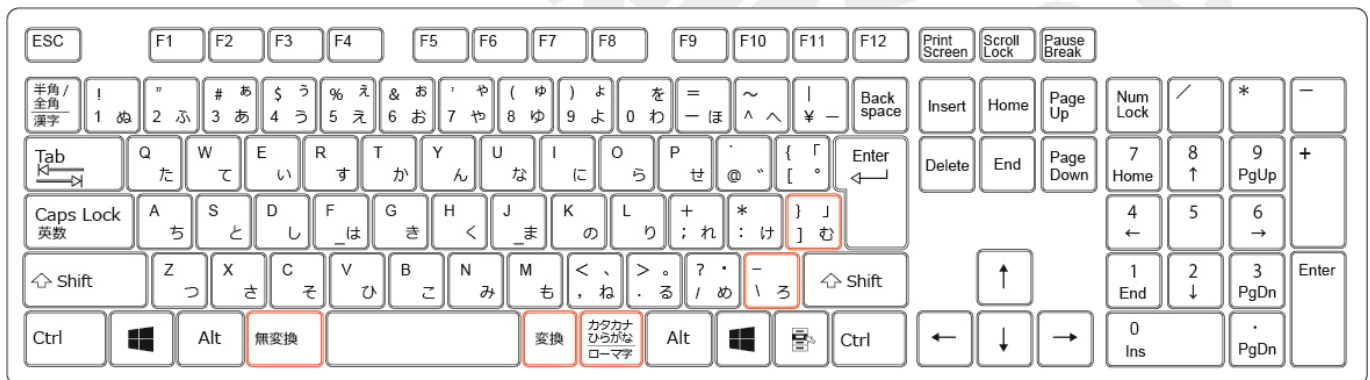
### Ⅲ-3-2. Special Codes

Key code 画面で表示されるソフトウェアキーボードは英語 104 キー配列です。日本語配列キーボードにある特有キーは Special Code から登録します。英語 104 キー配列と日本語 109 キー配列の違いは“む”、“ろ”、“無変換”、“変換”、“カタカナ・ひらがな”の 5 キーが無い点です。  
(日本語 109 キー配列図の橙枠参照)

#### ・ 英語 104 キー配列図



#### ・ 日本語 109 キー配列図



設定ソフトではこれらの 5 キーを以下の様に登録できます。

Special Codes	Key Code Value 値	設定内容
Europe1	5D	日本語キー：む
Ro	51	日本語キー：ろ
Muhenkan	67	日本語キー：無変換
Henkan	64	日本語キー：変換
Kata/Hira	13	日本語キー：カタカナ・ひらがな

また、以下の特殊なキーも Special Codes から選択が可能です。

Special Codes	Key Code Value 値	設定内容
Yen	6A	日本語キー：¥
Delay 0.5 Sec	D764	キーを押下してから、0.5 秒遅延させてから設定したキー情報を出力します。複数回使用することで遅延時間を調整することが可能です。

### Ⅲ-3-3. Hex Code

設定ソフト上の Keyboard や Special Codes にない値は Hex Code を入力し直接登録できます。Key Code 画面で表示される Value 値は“PS/2 Set Make”です。

参照 URL : USB HID to PS/2 Scan Code Translation Table

<http://download.microsoft.com/download/1/6/1/161ba512-40e2-4cc9-843a-923143f3456c/translate.pdf>

### Ⅲ-3-4. Layer セレクト

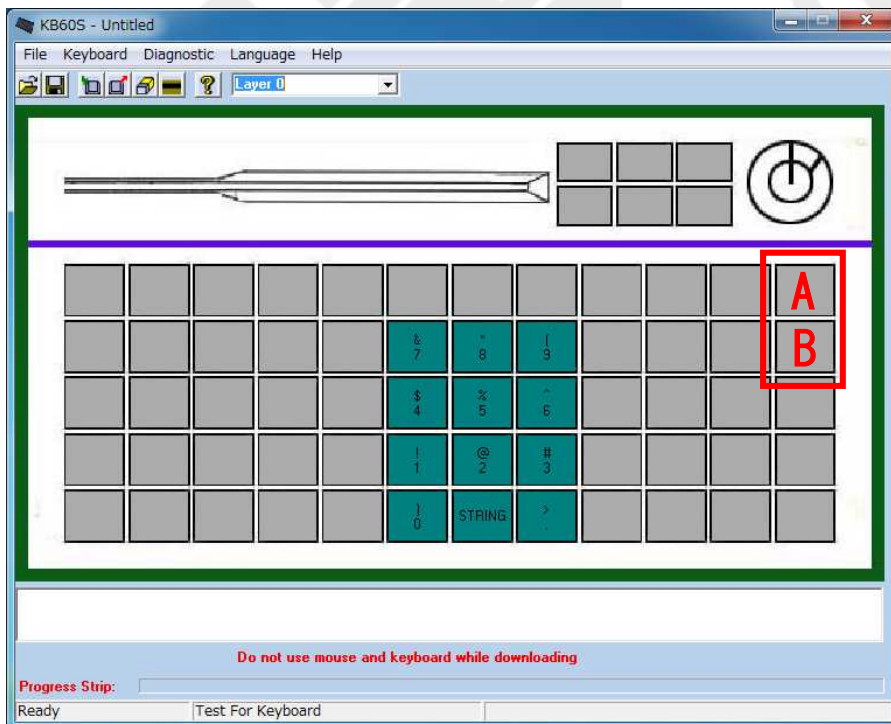
同じキーに対して Layer (層) 毎に異なる出力コードの割り当て設定ができます。Layer は Layer0~Layer15 まで存在し、合計で 16 層あります (Soft\_Layer は使用しません)。標準は Layer0 で、Layer の切替は必要なく設定したキーが出力できます。

Layer1~Layer15 を使用するには、レイヤー切り替えの設定をする必要があります。レイヤー設定方法は、[Ⅲ-4. キーロック キー割り当て設定機能](#)をご参照ください。

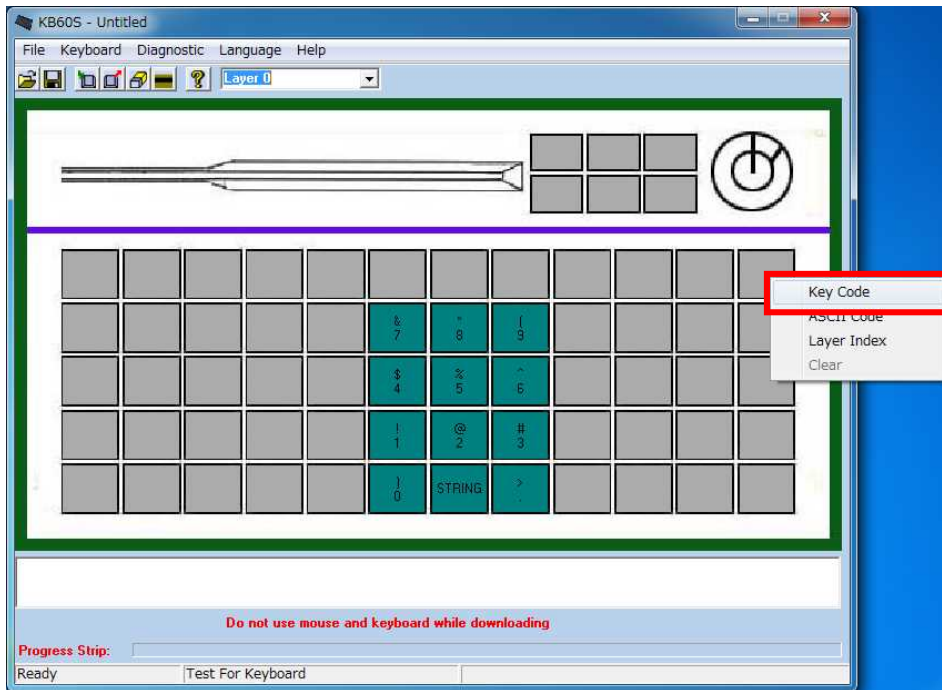
### Ⅲ-3-5. 倍角キー設定

倍角キー (1x2 倍、2x2 倍キー) を使用するための設定です。倍角キーは、押下されるキー全てに対して“同じキー設定”をする必要があります。設定方法は以下のとおりです。

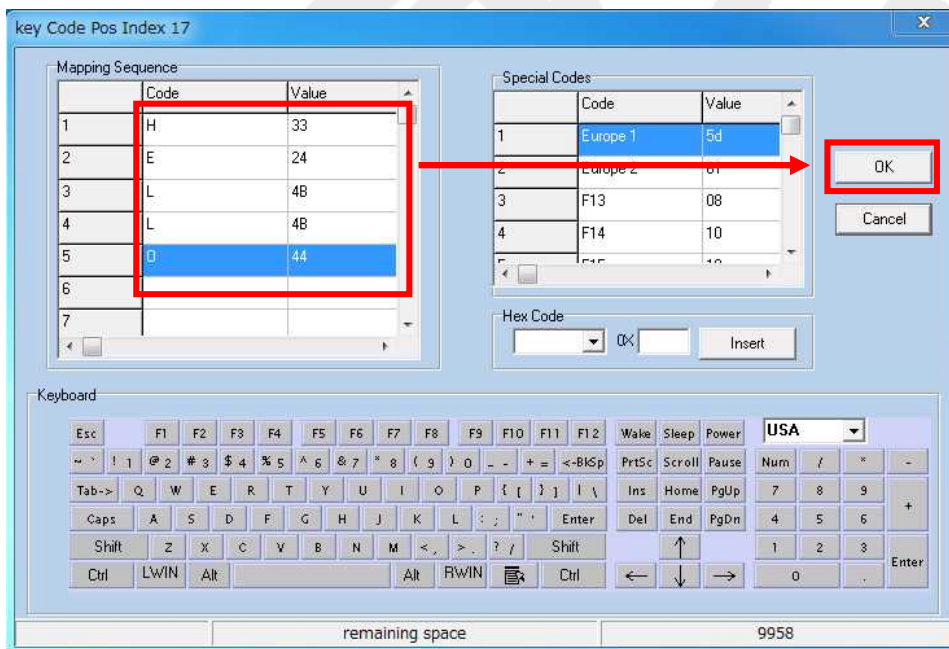
① 赤枠の箇所を 1x2 倍キーとして設定をします。赤枠の 2 キー (以降、それぞれ A キー、B キーと呼ぶ) に対してソフトウェアから設定をします。(2x2 倍キーの場合は、4 キーに対して設定をします)



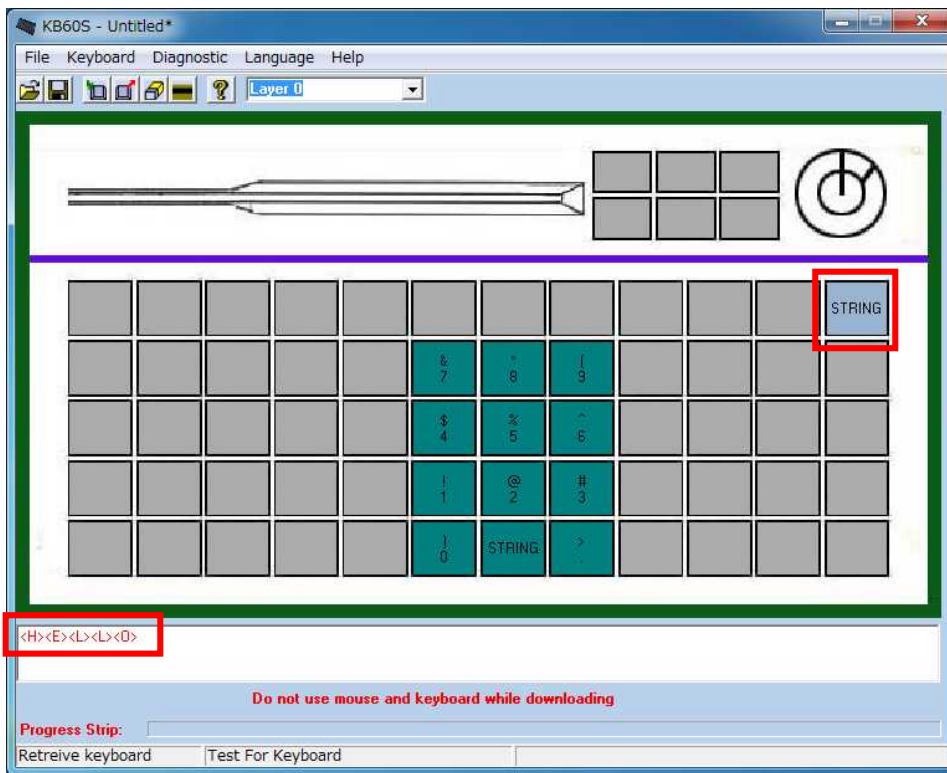
②A キー上にマウスカursorを乗せて、左クリックをするとメニューが表示されます。<Key Code>を選択して下さい。



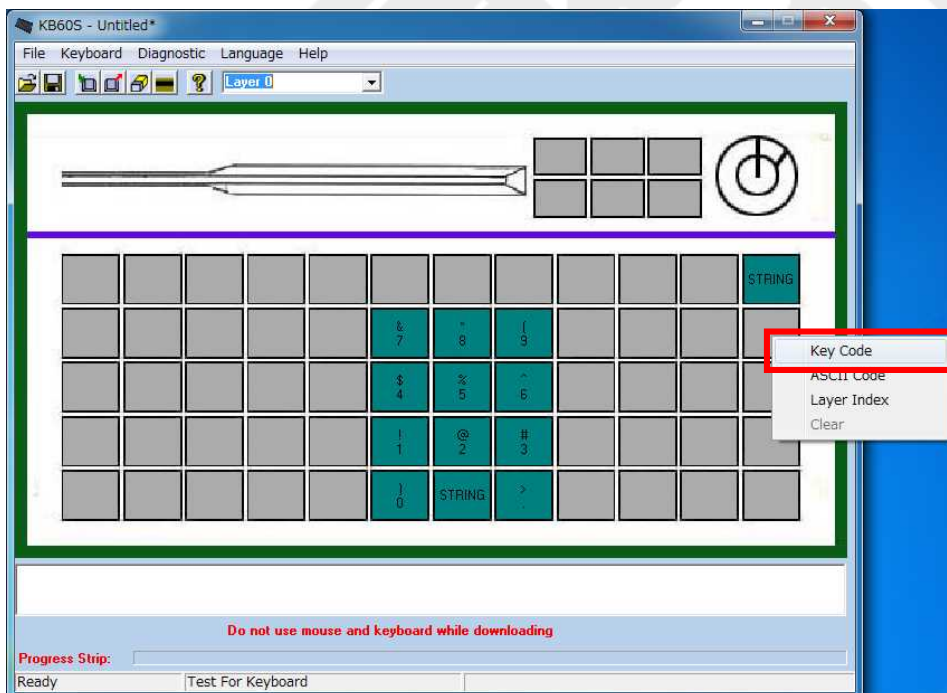
③Key Code 入力設定画面にて、“hello”と入力し、“OK”をクリックします。



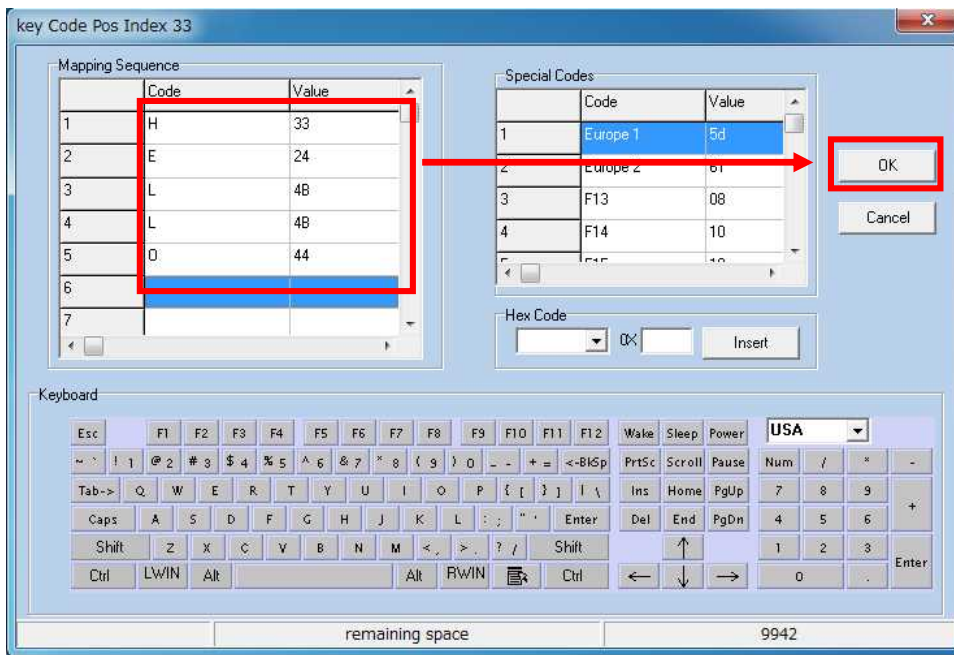
④ A キーの上にカーソルを持ってきて、画面下側の割当内容表示欄に“<H><E><L><L><O>”と表示されていることを確認します。



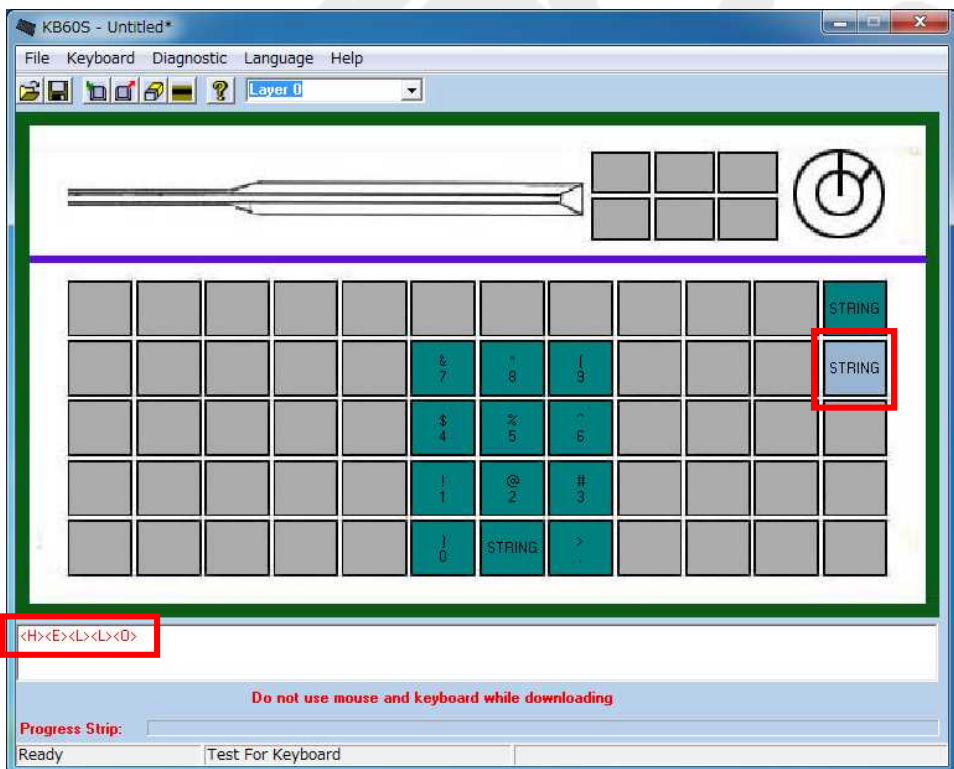
⑤ 続いて、B キー上にマウスカーソルを乗せて、左クリックをするとメニューが表示されます。<Key Code>を選択して下さい。




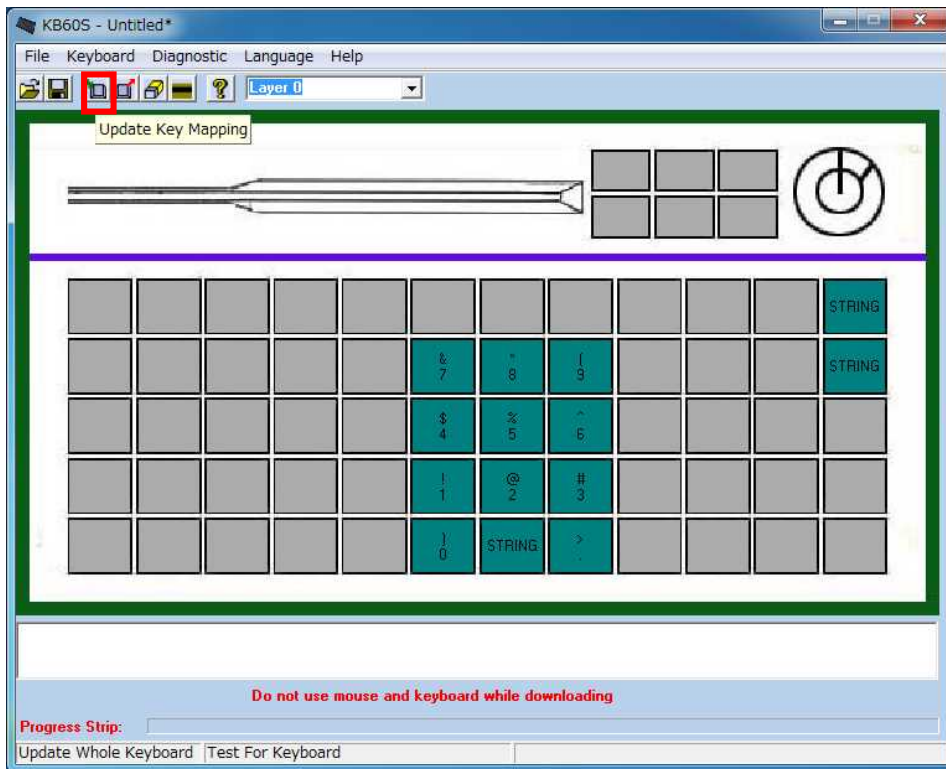
⑥ Key Code 入力設定画面にて、同じく“hello”と入力し、“OK”をクリックします。  
 ※異なるキー設定をすると、1x2 倍キーを押下したときにそれぞれが連続で出力されます。



⑦ B キーの上にカーソルを持ってきて、A キーのときと同様に、画面下側の割当内容表示欄に“<H><E><L><L><O>”と表示されていることを確認します。



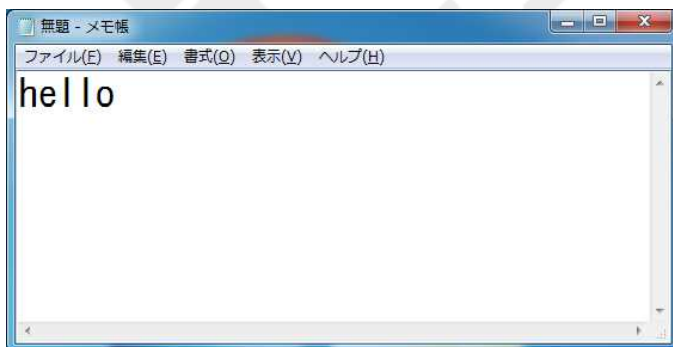
⑧ キーボードに設定を書き込みます。〈Update Whole keyboard アイコン(  )〉をクリックして下さい。



⑨ キーボード書き込み状況が表示され、書き込みを終えると〈Update Whole keyboard successful〉が表示されます。"OK"をクリックし、キーボードへの書き込みは完了します。

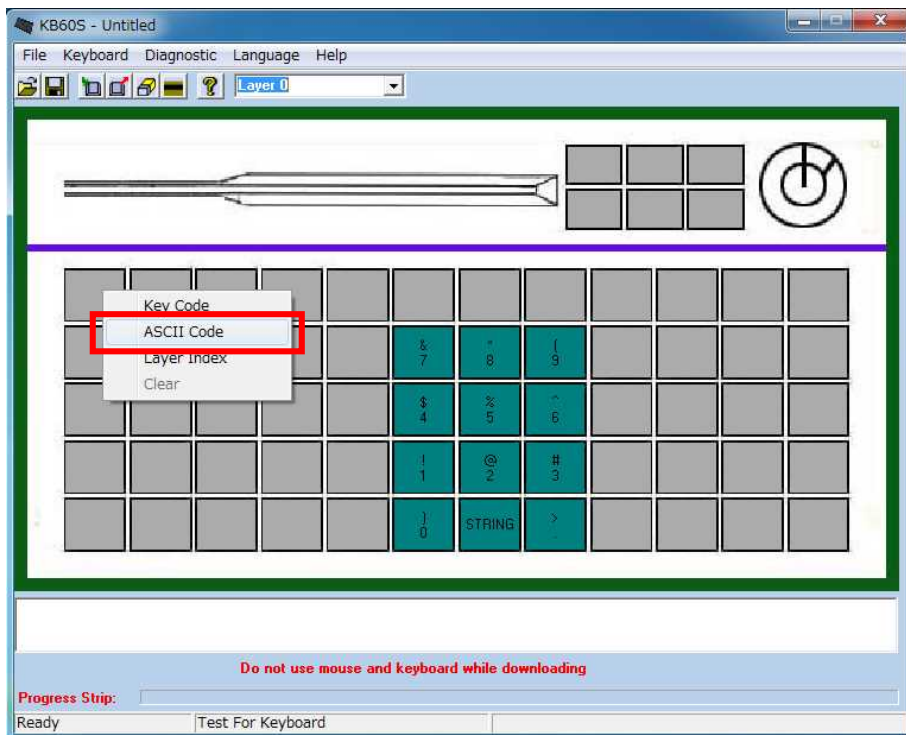


⑩ メモ帳等を開いて、設定した 1x2 倍キーを 1 度押下すると設定したキー(今回は"hello")が表示されます。設定したキーが割り当てられているのが確認できます。



### Ⅲ-3-6. ASCII Code

割り当て設定をしたいキーの上にマウスカースールを持ってきて、左クリックをするとメニューの中に ASCII Code メニューが表示されます。



こちらを選択すると、ASCII Code 画面へ遷移します。

ここでは、約 180 文字の文字を 1 キーに ASCII コードとして割り当てることができます（※半角英数のみ対応）。

設定を完了し、キーを押すと登録した文字列が出力されます。



下記 4 種のキーは、以下の表記を入力することで割り当てることができます。

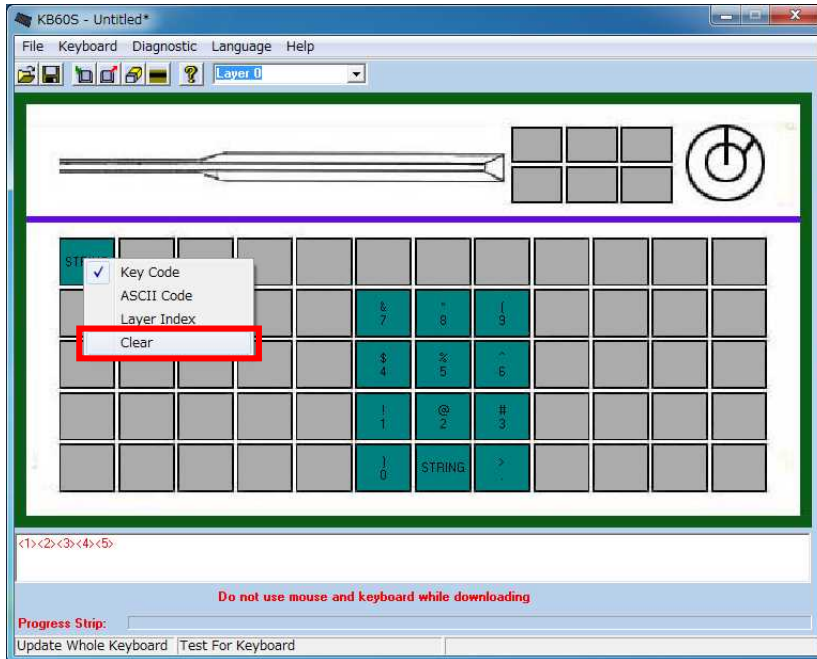
Symbol (記号)	Representation (表記)
Enter	\n または \N (¥n または ¥N)
Esc	\e または \E (¥e または ¥E)
Tab	\t または \T (¥t または ¥T)
\ もしくは ¥	\\ (¥¥)

### Ⅲ-3-7. Clear

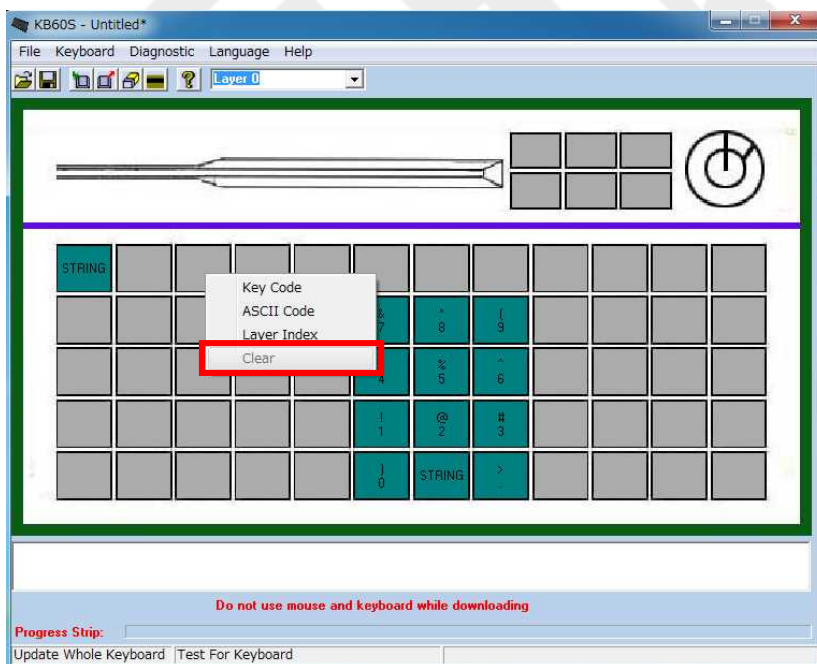
割り当て設定をしたキーの上にマウスマウスカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューの中に Clear メニューが表示されます。これは設定されているキー1つに対し、キー設定を削除する機能です。キー設定の一部を削除するときを使用します。

また、設定されていないキーの場合、Clear メニューはグレイアウトされています。

#### キー設定されている場合



#### キー設定されていない場合





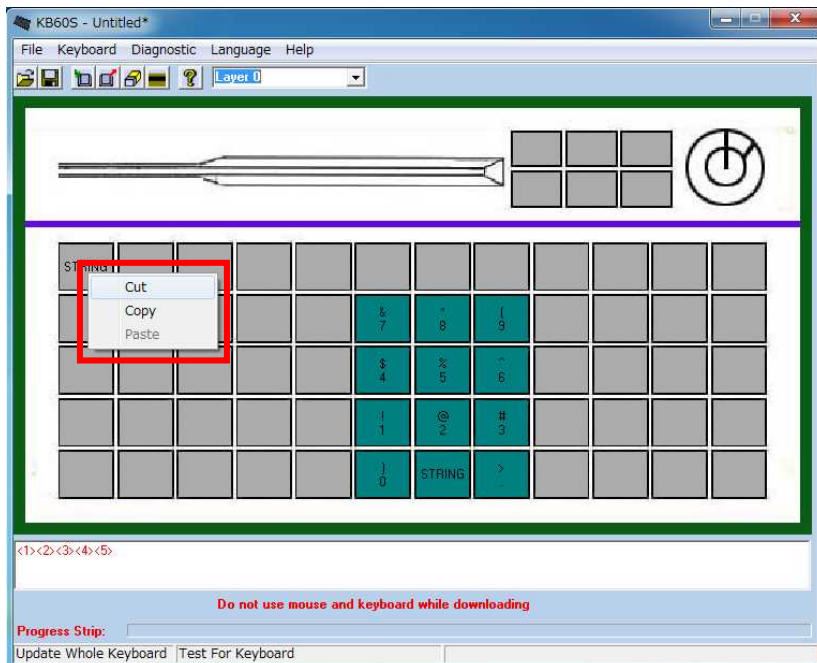
### Ⅲ-3-8. キー設定の Cut、Copy、Paste

キー設定をしたキーの上にマウスカursorを持ってきて、右クリックをすると、“Cut”、“Copy”、“Paste”を選択できるメニューが表示されます。

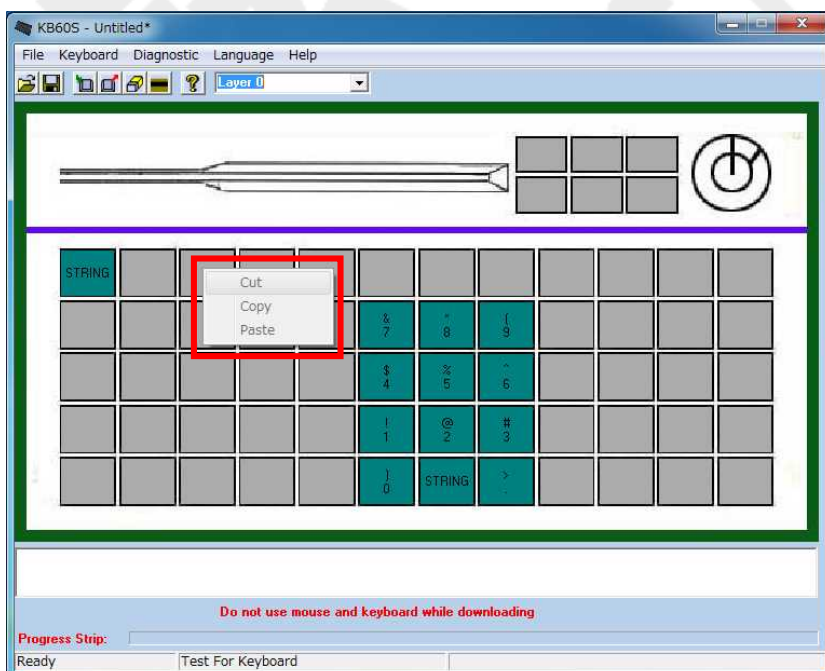
ここでは、これらのメニューについて記載します。

また、キー設定されているキーでないと“Cut”、“Copy”は選択できません。キー設定をしていないキーの場合、全てのメニューがグレーアウトされています。

#### キー設定されている場合



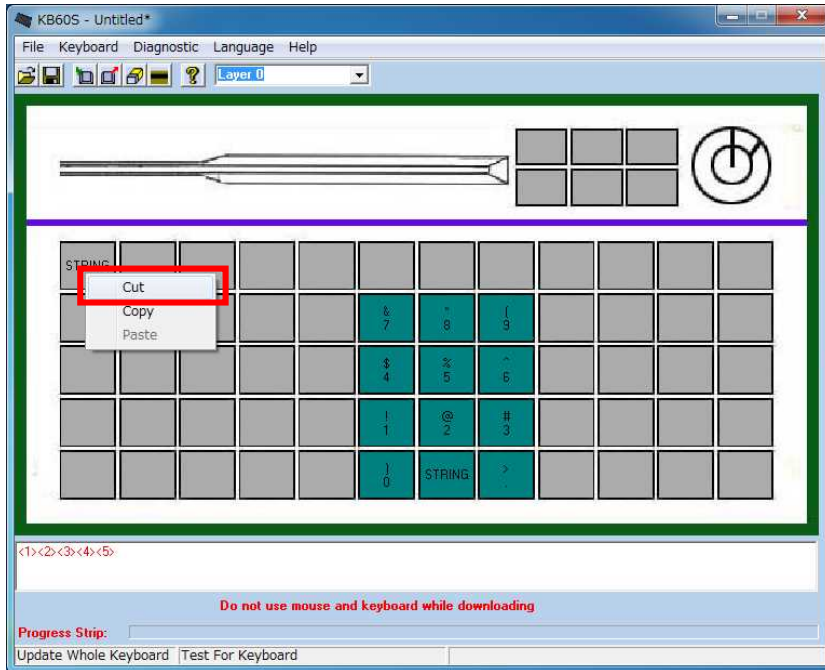
#### キー設定されていない場合



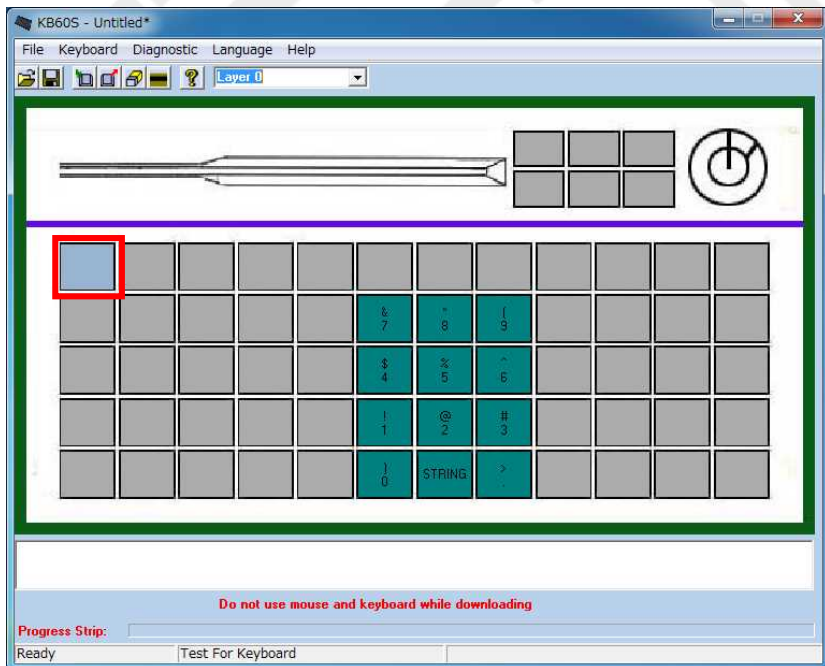
### Ⅲ-3-8-1. キー設定の切り取り

キー設定したキーの情報を、別のキーに移動したい場合、右クリックメニューの“Cut”を使用します。ここでは“Cut”について記載します。

① キー設定をしたキーの上にマウスカーソルを持ってきて、右クリックをすると、“Cut”を選択してください。



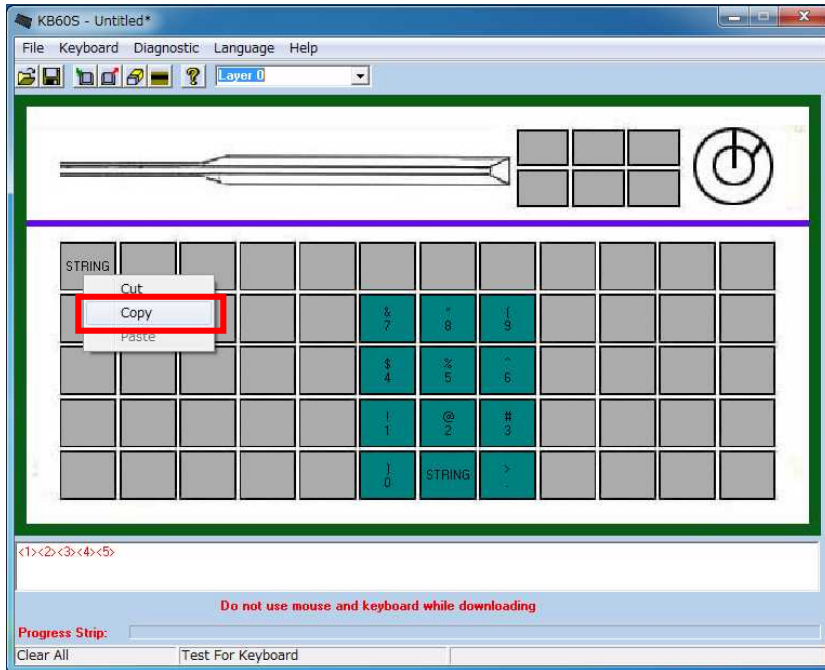
② キーに設定していたキー設定情報が切り取られます。キー設定情報は、ソフトウェア内で保持されています。この保持した情報を使用する場合は、右クリックメニューの“Paste”を使用（[Ⅲ-3-8-3. キー設定の貼り付け参照](#)）できます。



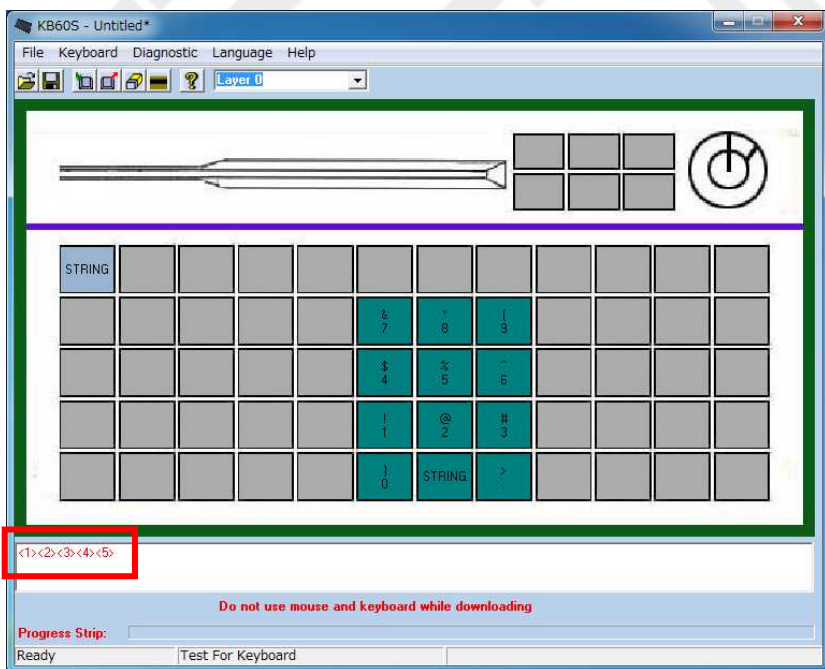
### Ⅲ-3-8-2. キー設定のコピー

キー設定したキーの情報を、別のキーにコピーしたい場合、右クリックメニューの“Copy”を使用します。ここでは“Copy”について記載します。

① キー設定をしたキーの上にマウスカーソルを持ってきて、右クリックをすると、“Copy”を選択してください。



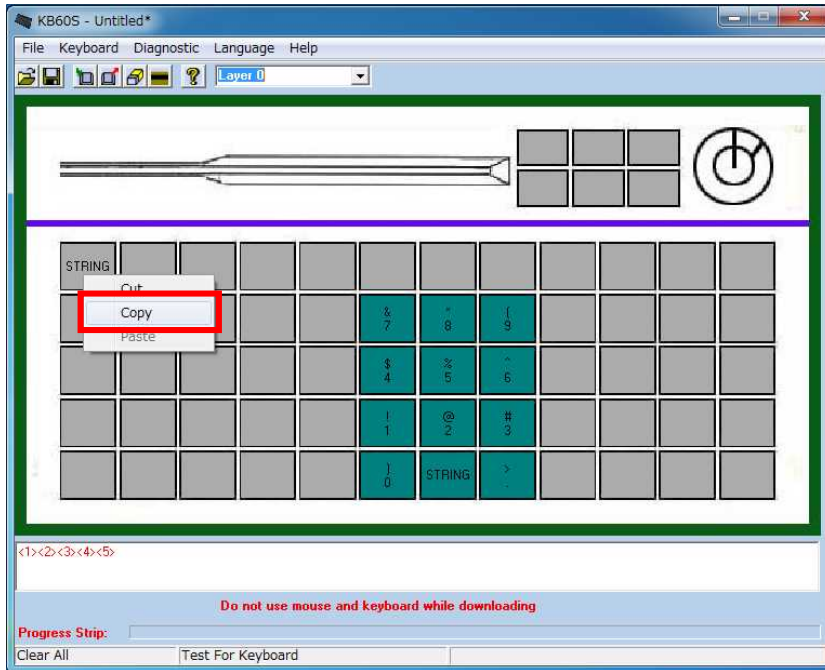
② キーに設定していたキー設定情報はそのままに、キー設定情報はソフトウェア内で保持されています。この保持した情報を使用する場合は、右クリックメニューの“Paste”を使用（[Ⅲ-3-8-3. キー設定の貼り付け参照](#)）します。



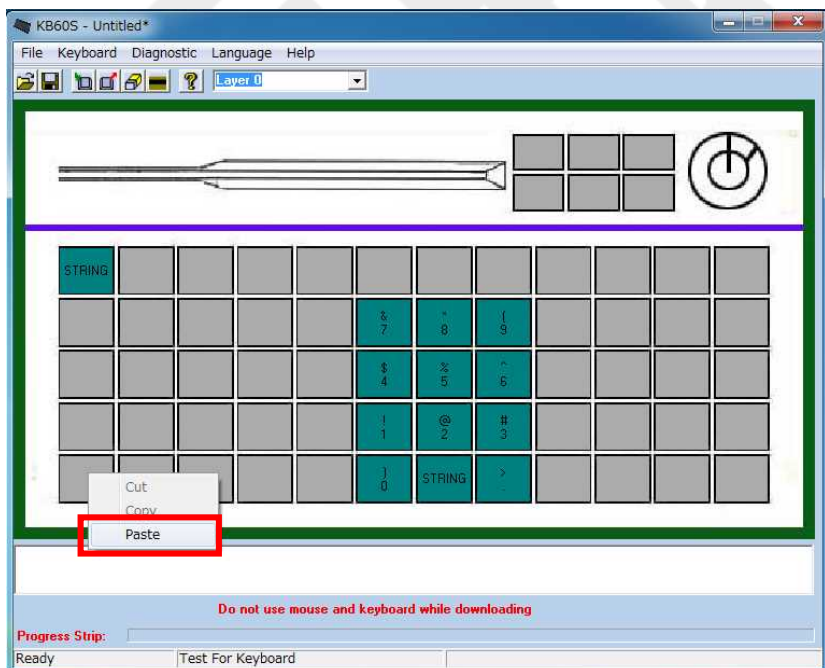
### Ⅲ-3-8-3. キー設定の貼り付け

右クリックメニューの“Cut”、“Copy”を実施し、キー設定情報を保持した状態の場合にのみ、右クリックメニューの“Paste”を使用できます。ここでは“Paste”について記載します。

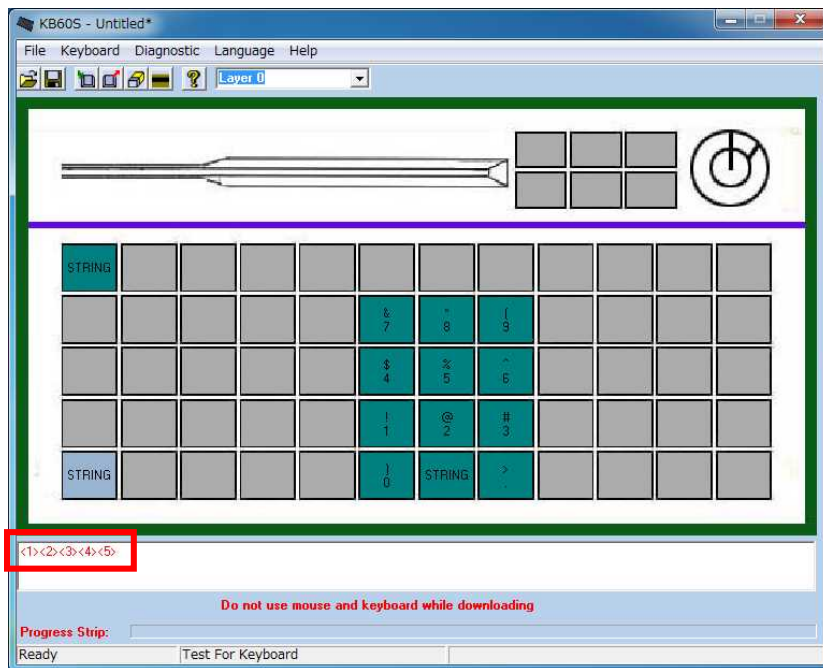
① キー設定をしたキーの上にマウスカursorを持ってきて、右クリックメニュー“Cut”もしくは“Copy”を選択してください。今回は“Copy”を選択して説明します。



② コピー元のキー設定情報をソフトウェア内で保持した状態で、コピー先のキーの上にマウスカursorを持ってきて、右クリックメニューの“Paste”を選択してください。

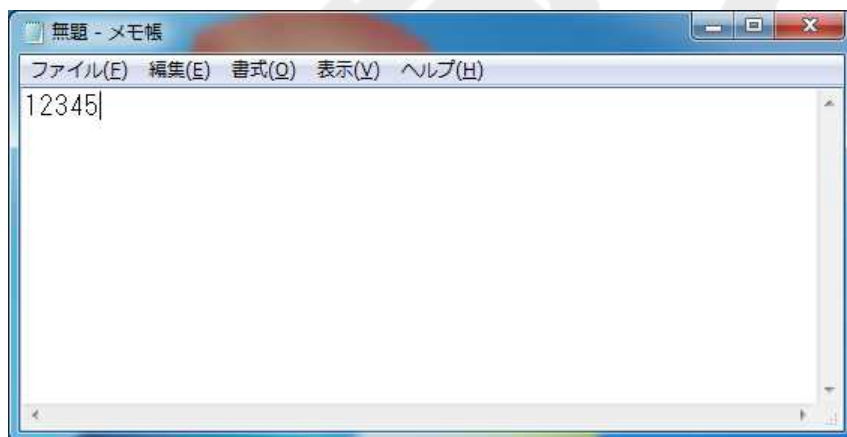


③ コピー先のキーに、保持されたキー設定が設定されます。



④ キー設定をキーボードへ書き込みます。

書き込み終わったらメモ帳等を開き、設定したキーを押下します。コピー元のキー、コピー先のキーいずれを押下しても設定したキー（今回は"12345"）と出力されます。

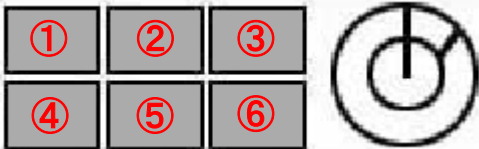


### Ⅲ-4. キーロック キー割り当て設定機能

キーロックは、付属の鍵を回して止めた位置で設定した Key Code を出力します。キーボードのキー割り当て設定と同じですが、設定されたキーは鍵が回された位置にキーが押された状態となり、他の位置にキーが移動するまで押された状態を保持しています。

そのため、キーロック切替は主にアプリケーションの設定切替のトリガーやレイヤー切替として使用されることが多い機能です。

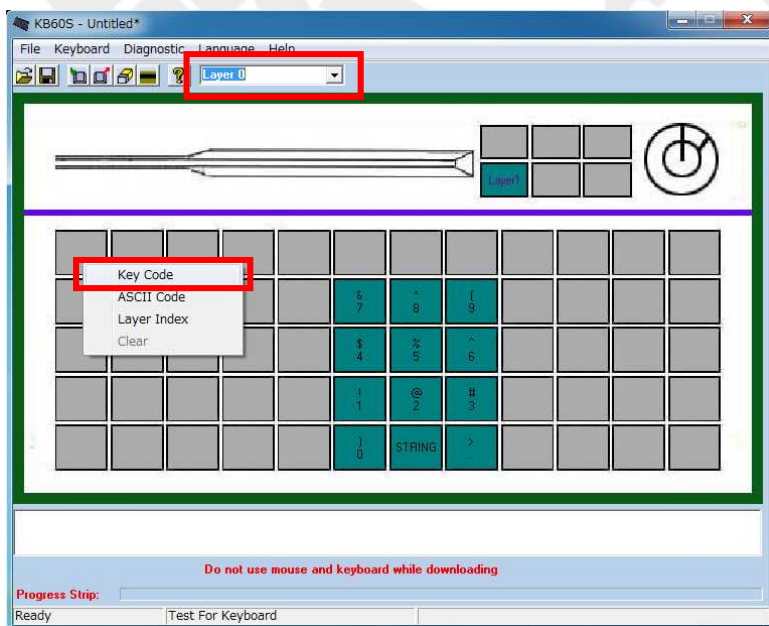
キーロック設定エリアの名称は以下のとおりです。



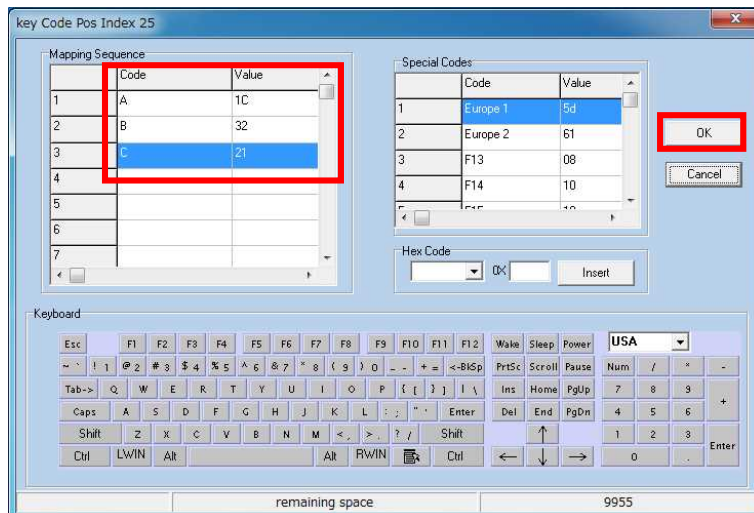
名称	設定内容
① [LOCK] 設定	キー位置を [LOCK] にしたときのキー割り当てを設定します。
② [OP] 設定	キー位置を [OP] にしたときのキー割り当てを設定します。
③ [X] 設定	キー位置を [X] にしたときのキー割り当てを設定します。
④ [Z] 設定	キー位置を [Z] にしたときのキー割り当てを設定します。
⑤ [P] 設定	キー位置を [P] にしたときのキー割り当てを設定します。
⑥ [SP] 設定	キー位置を [SP] にしたときのキー割り当てを設定します。

キーロックを使用したレイヤー切替設定の方法は、以下のとおりです。

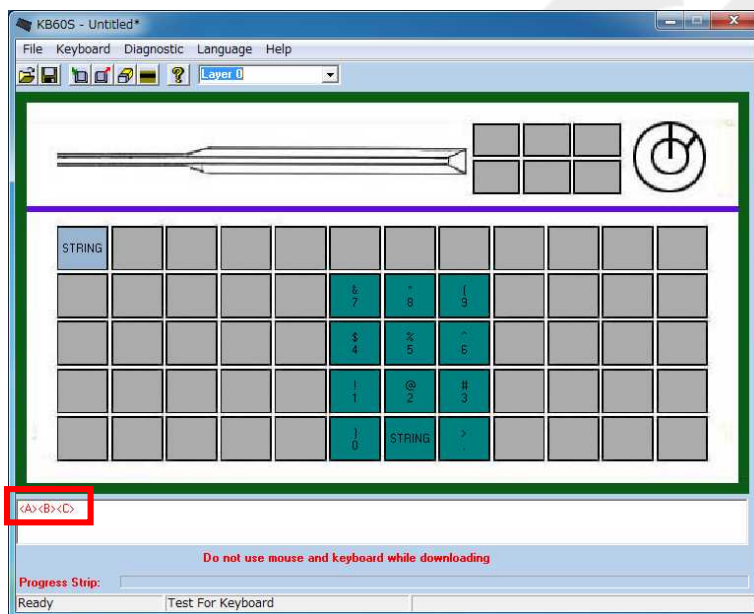
① Layer セレクトが "Layer0" になっていることを確認したら、任意のキーボード割り当てキー（今回は左上のキー）の上にカーソルを乗せて、左クリックして <Key Code> を選択して下さい。



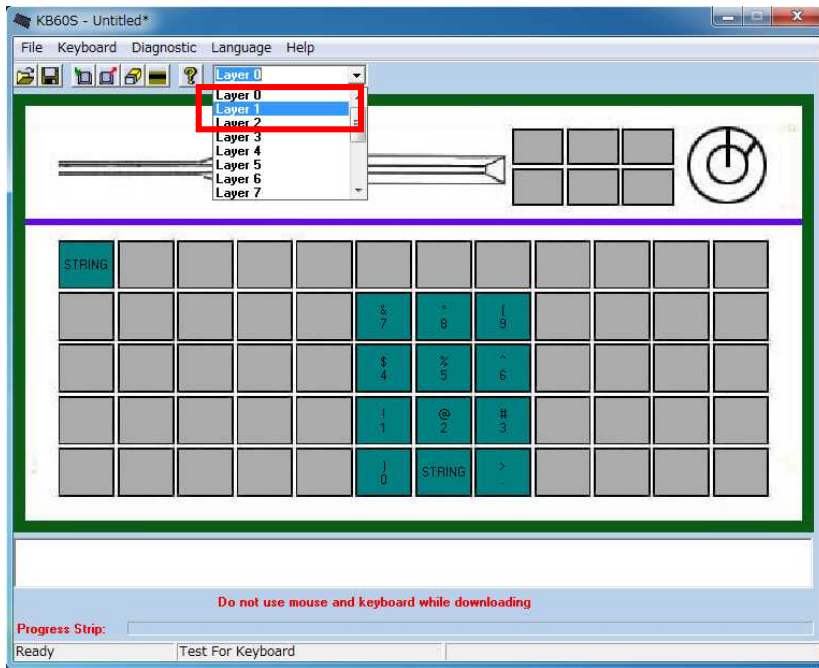
② Key Code 入力画面にて、ABC を割り当て“OK”をクリックします。



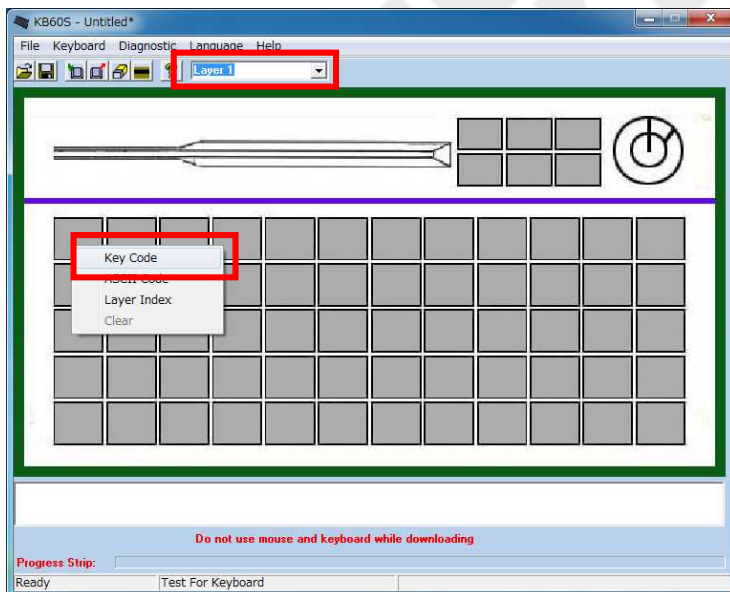
③ キー割り当て設定をしたキーの上にカーソルを乗せ、画面下側の割当内容表示欄に割り当てたキー“<A><B><C>”と赤文字で表示されます。



## ④ Layer セレクトで“Layer1”を選択して下さい。

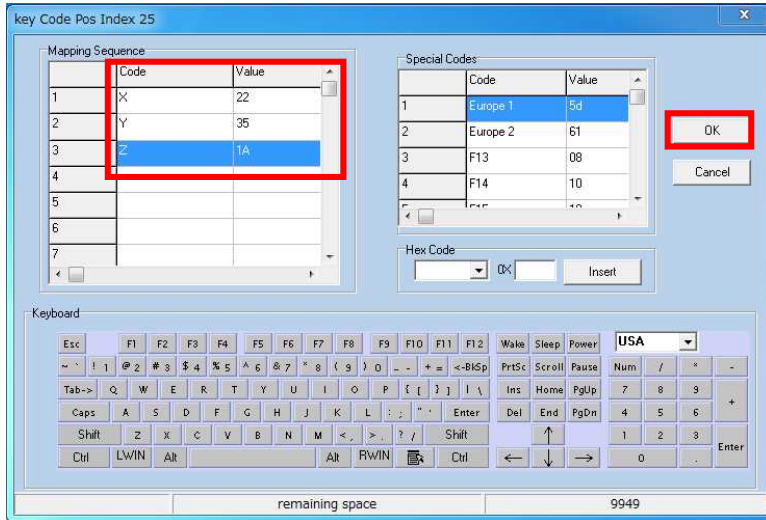


## ⑤ Layer セレクトが“Layer1”になっていることを確認したら、Layer0 でキー設定をしたキー（左上のキー）の上にカーソルを乗せて、左クリックして&lt;Key Code&gt;を選択して下さい。

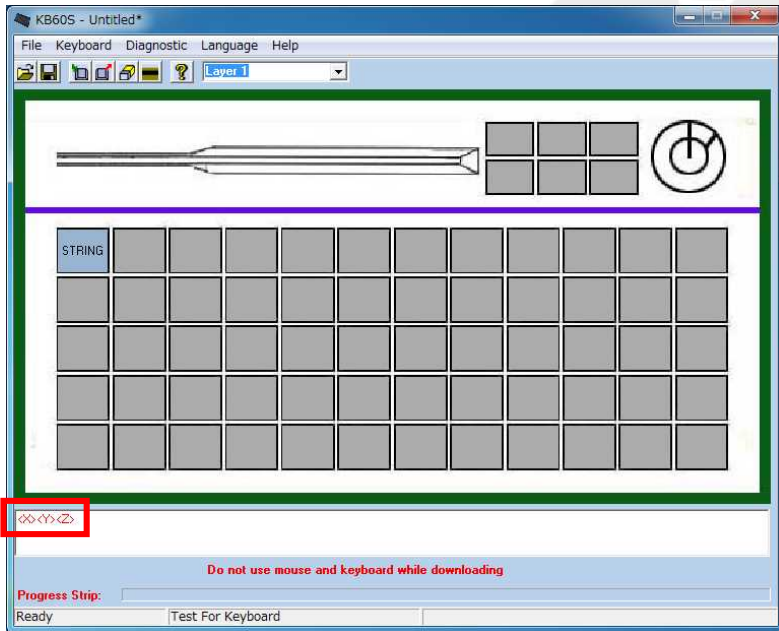




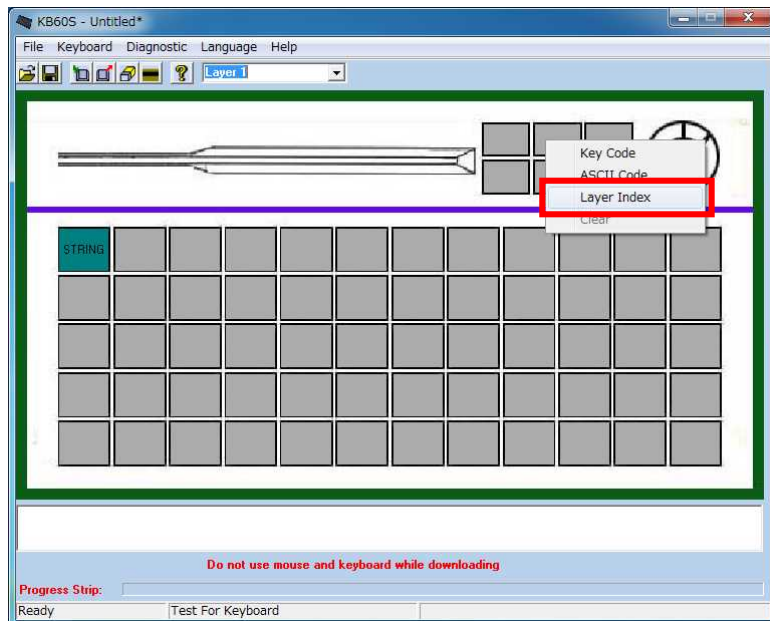
⑤ Key Code 入力画面にて、XYZ を割り当て“OK”をクリックします。



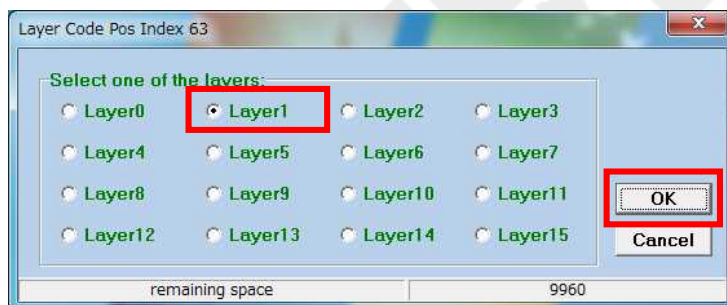
⑥ キー割り当て設定をしたキーの上にカーソルを乗せ、画面下側の割当内容表示欄に割り当てたキー“<X><Y><Z>”と赤文字で表示されます。



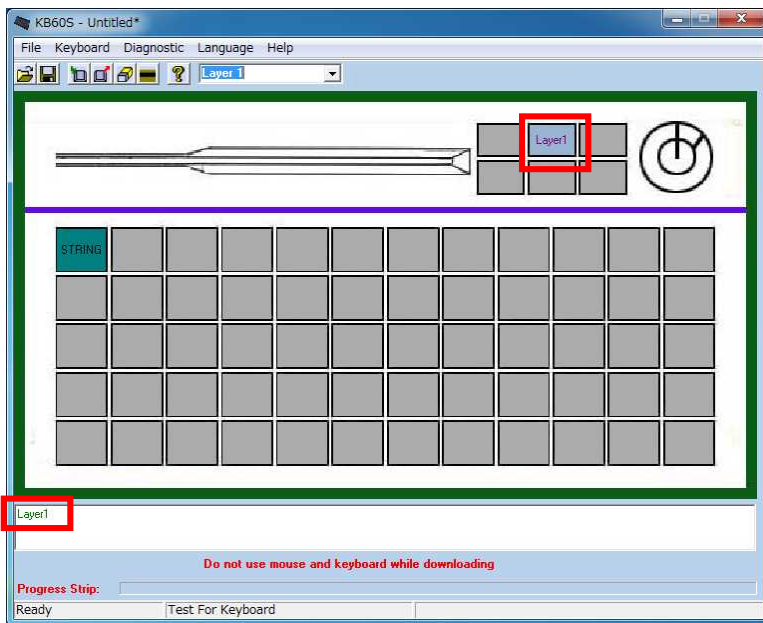
⑦ レイヤー切り替えをするキーロックのキー位置表示（今回は“0P”（上段真ん中））の上  
にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されるので“Layer Index”  
をクリックします。




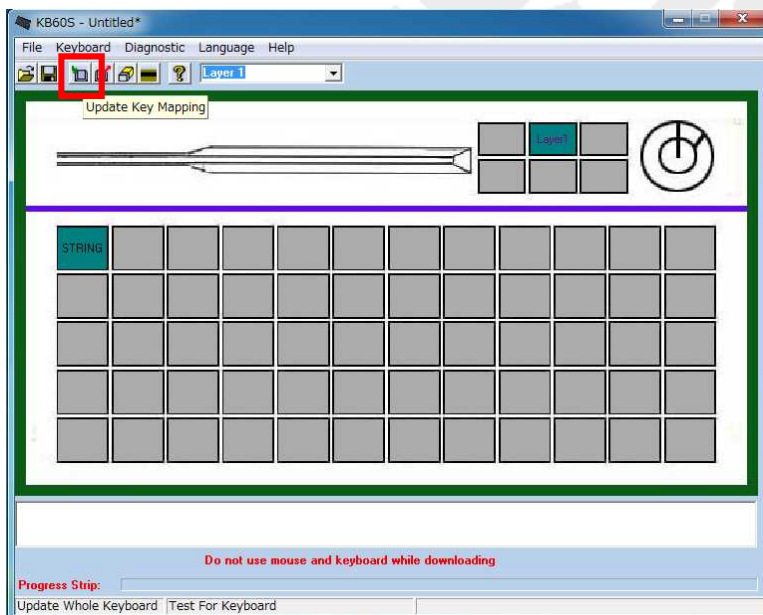
⑧ レイヤー選択画面にて、“Layer1”を選択し、“OK”をクリックします。



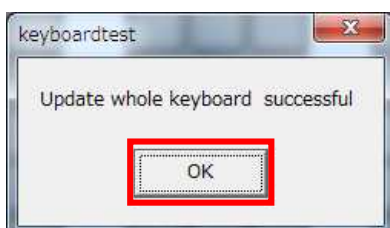
⑨ キー設定画面にて、Layer Index を設定したキー位置の上にカーソルを持ってくると、画面下側の割当内容表示欄に割り当てたレイヤー“Layer1”と緑文字で表示されます。



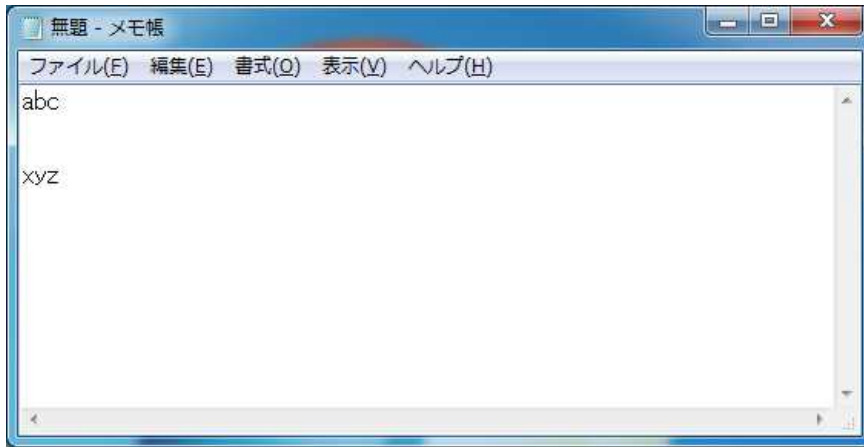
⑩ キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン (  )>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



⑪ 書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。“OK”をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。

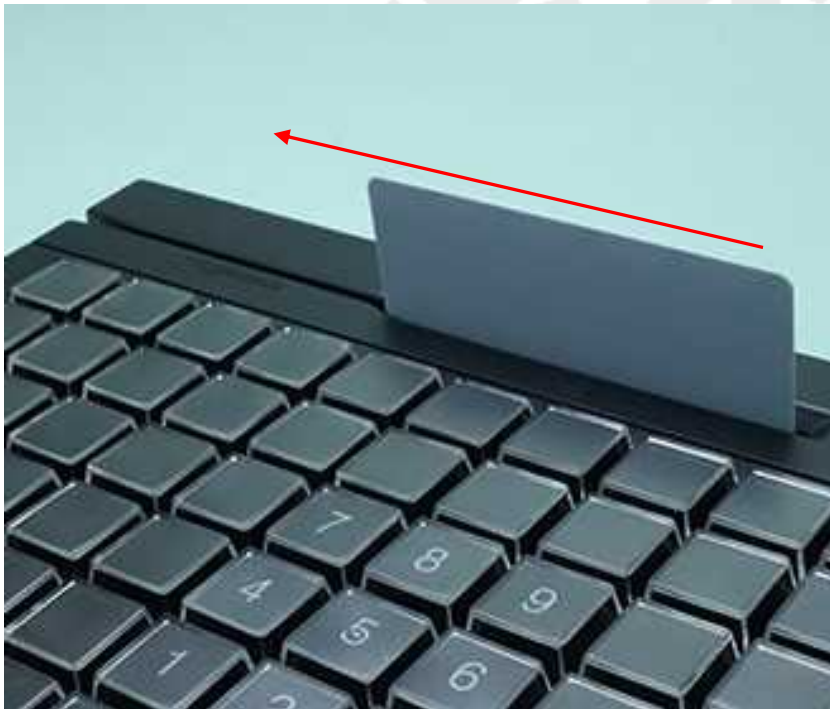


⑧メモ帳等を開いて、キー位置を[LOCK]の状態ではキー設定をしたキーを押下すると“abc”と入力され、キー位置を[OP]の状態ではキー設定をしたキーを押下すると“xyz”と入力されることが確認できます。



### Ⅲ-5. 磁気カードデータの読み取り


①磁気カードを差し込み、磁気カードを赤矢印の方向にスライドさせます。

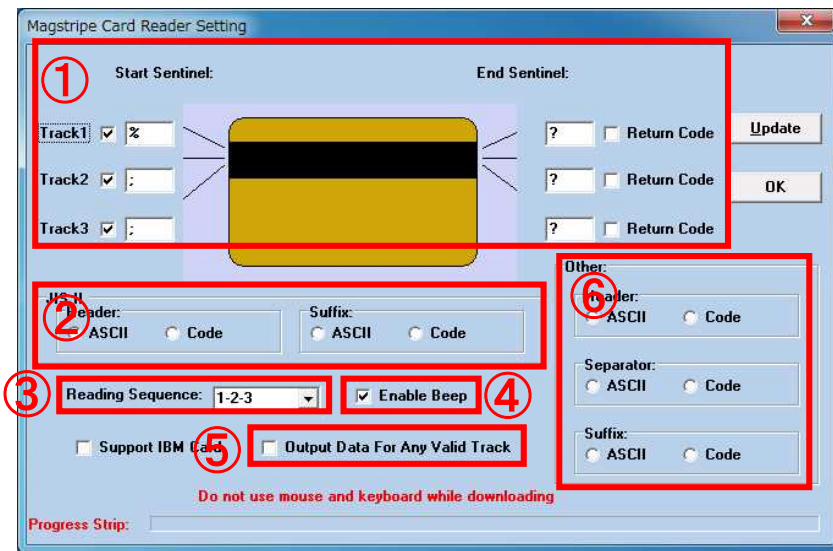




### Ⅲ-6. 磁気カードデータの読み取り情報表示設定


磁気カードは ISO(JIS-I)トラック 1&2&3/JIS-II に対応しています。読み取り表示設定画面より ISO(JIS-I)トラック 1&2&3 の読み取った際の表示設定が行えます。

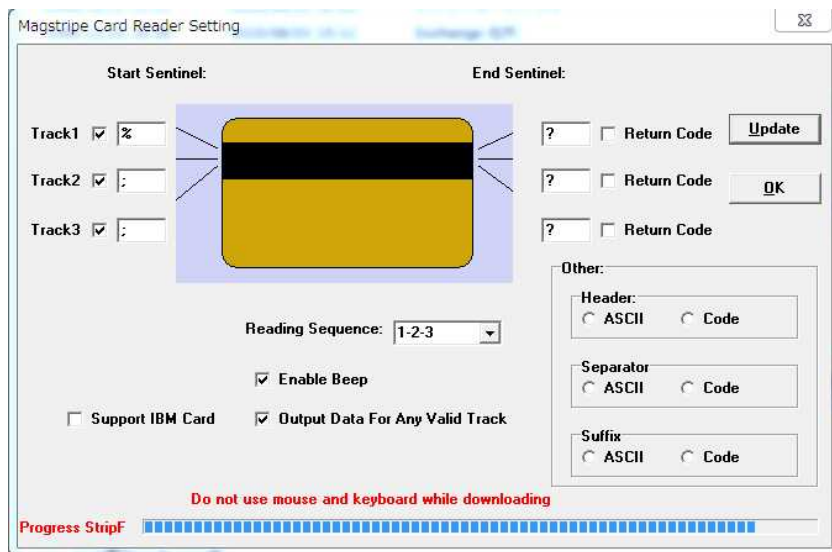
①読み取り表示設定画面の磁気カードリーダー<Set Magstripe Card Reader アイコン (  )>をクリックします。磁気カードリーダー読み取り表示設定画面が表示されます。読み出す Track のチェックや<Start Sentinel>、<End Sentinel>の設定をして下さい。



① Start sentinel, End Sentinel	読み取った出力データの Start Sentinel、End Sentinel、Return Code 改行の指定を行いません。
② JIS II	JIS II カード読み取り時、出力するデータに付加する Header, Suffix を ASCII Code または Key Code で指定できます。
③ Reading Sequence	Track1, 2, 3 読み取りデータの出力順を選択します。
④ Enable Beep	データ読み取りの際のビープ音の有無を選択します。
⑤ Output Data For Any Valid Track	データとして有効な Track データのみを出力し、無効な Track データは出力しないかの選択です。有効な Track データのみを出力する場合はチェックします。
⑥ Other	出力するデータに付加する Header, Separator, Suffix を ASCII Code または Key Code で指定できます。

※Support IBM Card は使用しません。

③ 設定後キーボードへ書き込みを行ないます。Update をクリックして下さい。※OK をクリックして、設定画面より<Update Whole keyboard アイコン(  )>をクリックして書き込むこともできます。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



④ 書き込みを終えると<Update successful>が表示されます。“OK”をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。



**IV. メニューバーとアイコン**

設定画面内のメニューバーの説明と対応するアイコンです。

大項目	小項目	説明	アイコン
File	New -> Key Map	新規作成	-
	Open	ファイルを開く	
	Save	上書き保存	
	Save As	名前を付けて保存	-
	Exit	終了	-
Keyboard	Update Whole Keyboard	全キーマッピング設定とキーボードパラメータ設定の書き込み	
	Update Key Mappings	全キーマッピング設定の書き込み	-
	Retrieve Keyboard	全キーマッピング設定とキーボードパラメータ設定の読み込み	
	Clear Current Layer	現在表示している Layer のキーマッピング設定のみ削除	-
	Clear All	全キーマッピング設定の削除	
	Keyboard Setting	キーボードパラメータ設定の表示	-
	Magstripe Card Reader setting	カードリーダー設定の表示	-
	Diagnostic	Enter Test Mode	テストモードの開始
Exit Test Mode		テストモードの終了	-
Set Default Value		キーマッピング設定とキーボードパラメータ設定を工場出荷時に戻す	-
Firmware version		ファームウェアバージョンの確認	-
Language	English	英語表記に切替 (default は英語表記)	-
	Simplified Chinese	中国語 (簡体) 表記に切替	-
Help	About Matrix Maker	マトリクスメーカーについて	



## IV-1. File

設定情報の新規作成、展開、保存やソフトウェアの終了を選択できます。

### IV-1-1. New - Key Map

新しく設定情報を作成したい場合、以下の手順を実施して下さい。Keyboard Category 画面から遷移してきた場合、設定画面は新規作成の状態です。

①メニューバーから {File -> New -> KeyMap} を選択して下さい。

※もし保存されていない設定ファイルを開いた状態だと <Are you sure to save changes> のアラートが表示されます。[はい] を選択して設定ファイルを保存するか、[いいえ] を選択して設定ファイルを破棄して下さい。[キャンセル] を選択すると、新規作成を取り止めて元の画面に戻ります。

②設定ファイルが新規作成され、未設定の画面が表示されます。

### IV-1-2. File - Open

保存してある設定ファイルを読み込みたい場合、以下の手順を実施して下さい。

①メニューバーから {File -> Open} を選択して下さい。

②Matrix Maker for KBJ60 で保存した dat ファイルを指定し、“開く” を選択して下さい。

③読み込みを終えると <the file opened successful> のダイアログが表示されます。“OK” を選択してダイアログを閉じて下さい。設定の反映された画面が表示されます。

### IV-1-3. Save/Save as

作成した設定情報を保存したい場合、以下の手順を実施して下さい。

①メニューバーから {File -> Save} または {File -> Save As} を選択して下さい。

※[Save] は「上書き保存」、[Save As] は「名前をつけて保存」と同様の動作です。

②任意のファイル名を入力し、任意の保存先を指定し、“保存” を選択して下さい。

③保存を終えると <File saved successful> のダイアログが表示されます。“OK” を選択してダイアログを閉じて下さい。なお、ファイルは dat 形式で保存されます。

### IV-1-4. Exit

キーボード設定ソフトを終了したい場合、以下の手順を実施して下さい。

①メニューバーから {File -> Exit} を選択して下さい。

※もし保存されていない設定ファイルを開いた状態だと <Are you sure to save changes> のアラートが表示されます。[はい] を選択して設定ファイルを保存するか、[いいえ] を選択して設定ファイルを破棄して下さい。[キャンセル] を選択すると、終了を取り止めて元の画面に戻ります。

※ウィンドウの右上「×」を選択しても同様の動作をします。

## IV-2. Keyboard

キーボードへの設定書き込みと、キーボードからの設定読み込み、設定情報のクリアや、キーボードパラメータの設定が出来ます。

### IV-2-1. Update Whole Keyboard

キーボード設定には、キーマッピング設定とキーボードパラメータ設定の2つがあります。全キーボード設定の書き込みでは、この2つの設定をキーボードへ書き込みます。

- ①メニューバーから {Keyboard -> Update Whole Keyboard} を選択して下さい。選択すると、プログレスバーが進みます。
- ②書き込み終わると <Update whole keyboard successful> のダイアログが表示されます。設定がキーボードへ書き込まれましたので、“OK” を選択してダイアログを閉じて下さい。

### IV-2-2. Update Key Mappings

全キーマッピングの書き込みでは、キーマッピング設定のみキーボードへ書き込みます。  
※キーボードパラメータ設定は書き込まれません。

- ①メニューバーから {Keyboard -> Update Key Mappings} を選択して下さい。選択すると、プログレスバーが進みます。
- ②書き込み終わると <Update Key Mappings successful> のダイアログが表示されます。設定がキーボードへ書き込まれましたので、“OK” を選択してダイアログを閉じて下さい。

### IV-2-3. Retrieve Keyboard

現在接続されているキーボードに設定されているキーマッピング設定とキーボードパラメータ設定を、ソフトウェア上に読み込みます。

- ①メニューバーから {Keyboard -> Retrieve Keyboard} を選択して下さい。選択すると、プログレスバーが進みます。
- ②書き込み終わると <Retrieve keyboard successful> のダイアログが表示されます。“OK” を選択してダイアログを閉じて下さい。設定がソフトウェア上に表示されます。

### IV-2-4. Clear Current Layer

現在設定画面に表示されている Layer のキーマッピング設定を削除します。他の Layer に設定されているキーマッピング設定は削除されません。

- ①メニューバーの {Keyboard -> Clear Current Layer} を選択して下さい。現在表示している Layer のキーマッピング設定が削除されます。

#### IV-2-5. Clear All

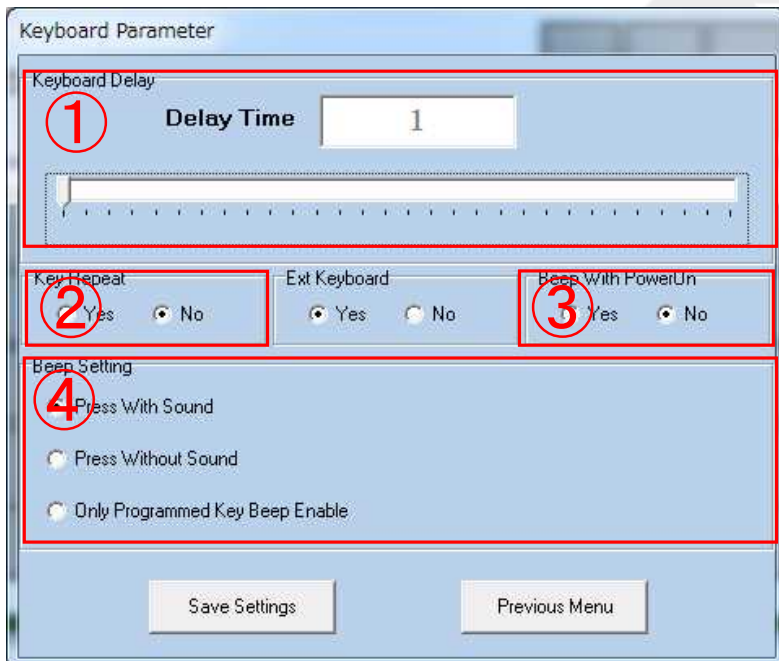
全キーマッピング設定を削除します。キーボードパラメータ設定は初期化されません。

①メニューバーの {Keyboard -> Clear All} を選択して下さい。キーマッピング設定全てを削除します。

#### III-2-6. Keyboard setting

キーボードパラメータ設定を行えます。キーボードパラメータ設定とは、キーリピート設定、起動時の beep 音設定、キー押下時の beep 音設定など、キー入力情報以外のキーボード設定をすることが出来ます。

変更した設定を保存する場合は <Save Settings> を選択して下さい。 <Previous Menu> は 瀬体を保存せずに戻ります。このキーボードパラメータ設定をキーボード本体に書き込むためには、 [IV-2-1. Keyboard - Update Whole Keyboard](#) を実施する必要があります。



※Ext Keyboard は使用しません。

大項目	小項目	説明
①Keyboard Delay	1-30	キーリピート間隔を 30 段階で調整できます。1 が最も早く、30 が最も遅いです。
②Key Repeat	YES	キーリピートを ON にします。リピートする間隔は ① の設定が反映されます。
	NO	キーリピートを OFF にします。
③Beep With PowerOn	YES	電源 ON 時の Beep 音を ON にします。
	NO	電源 ON 時の Beep 音を OFF にします。
④Beep setting	Press With Sound	キー押下時の Beep 音を ON にします。
	Press Without Sound	キー押下時の Beep 音を OFF にします。
	Only Programmed Key Beep Enable	キーマッピング設定されたキーのみ、キー押下時の Beep 音を ON にします。

### Ⅲ-2-7. Magstripe Carf Reading setting

カードリーダー設定を行えます。詳細は [Ⅲ-6. 磁気カードデータの読み取り情報表示設定](#) をご参照ください。

## Ⅳ-3. Diagnostic

キーボードの状態を確認、変更が出来ます。

### Ⅳ-3-1. Enter Test Mode

キーを押してキー自体を診断するテストモードがあります。テストモードへ切り替えると、各キーに予め割り当てられた 16 進数のキーコードが beep 音と共にキーを押されたときに出力されます。

①メニューバーから {Diagnostic -> Enter Test Mode} を選択して下さい。<setting is successful>のダイアログが表示されますので“OK”を選択してダイアログを閉じて下さい。設定画面上には表示されませんが、キーボードのテストモードが ON の状態になります。

### Ⅳ-3-2. Exit Test Mode

テストモードに切り替わったキーボードは、この Exit Test Mode でテストモードを解除できます。

**※テストモードに切り替えたら、必ずテストモードの解除をしてください。解除しないと、キーボードが正常に動作しないことがあります。**

①メニューバーから {Diagnostic -> Exit Test Mode} を選択して下さい。<setting is successful>のダイアログが表示されますので“OK”を選択してダイアログを閉じて下さい。設定画面上には表示されませんが、キーボードのテストモードが OFF の状態になります。

### Ⅳ-3-3. Set Default Value

設定情報を初期化したいときに使用します。全キーマッピング設定とキーボードパラメータ設定がデフォルト値に戻ります。

**※キーボード本体と、設定ソフトウェアの両方を初期化します。ご注意ください。**

①メニューバーから {Diagnostic -> Set Default Value} を選択して下さい。<Update Key Mappings successful>のダイアログが表示されますので“OK”を選択してダイアログを閉じて下さい。キーボードと設定ソフトウェアの初期化が完了します。

### Ⅳ-3-4. Firmware Version

設定ソフトウェアのファームウェアバージョンを表示します。

①メニューバーから {Diagnostic -> Firmware Version} を選択して下さい。<The Version is>のダイアログが表示されますので“OK”を選択してダイアログを閉じて下さい。

## IV-4. Language

設定ソフトウェアの言語表示の変更ができます。初期値は“English”です。

### IV-4-1. English

設定ソフトウェアの言語表示を英語に変更できます。

①メニューバーから {Language -> English} を選択して下さい。表示モードが英語になります。

### IV-4-2. Simplified Chinese

設定ソフトウェアの言語表示を中国語（簡体字）に変更できます。

※中国語が表示できるパソコン環境にて実施して下さい。文字化けをする場合、中国語を表示する環境が整っていない可能性があります。

①メニューバーから {Language -> Simplified Chinese} を選択して下さい。表示モードが中国語（簡体字）になります。

## IV-5. Help

設定ソフトウェアのバージョンを表示します。

### IV-5-1. About Matrix Maker...

バージョンを表示します。当該ソフトウェアは“KB60S”と表示されます。

①メニューバーから {Help -> About Matrix Maker...} を選択して下さい。<KB60S>のダイアログが表示されます。バージョンを確認したら“OK”を選択してダイアログを閉じて下さい。

## V. よくある質問

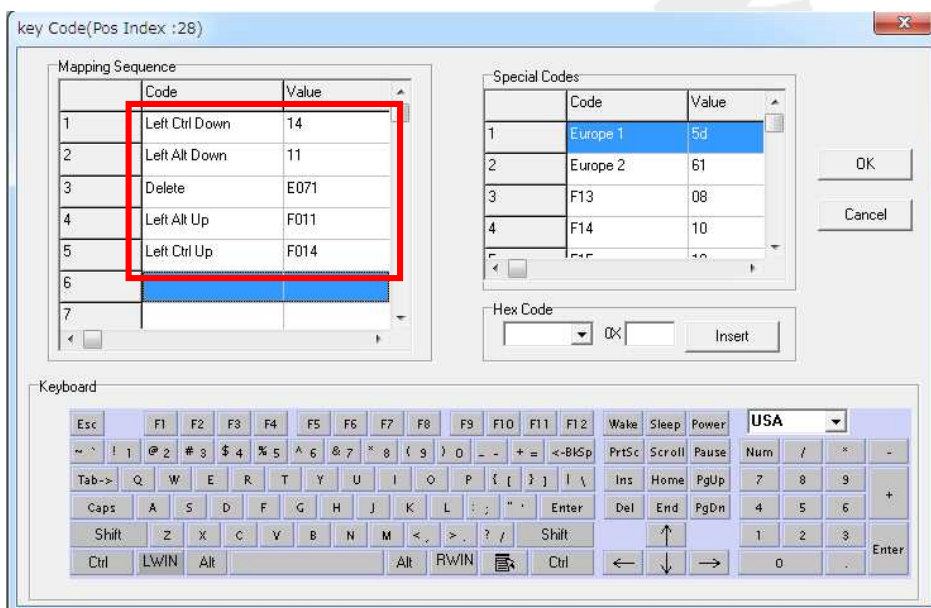
### Question:

キーに“Ctrl + Alt + Down”を設定したのですが、上手く動作しません。設定したキーを2回押すと反応したりします。

### Answer:

以下の設定（赤枠）が“Ctrl + Alt + Delete”キーの割り当てコードになります。

- 手順 1. 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)
- 手順 2. 左 Alt をクリック (Left Alt Down)
- 手順 3. Delete をクリック
- 手順 4. 左 Alt をクリック (Left Alt Up)
- 手順 5. 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Up)



### Question:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されている他のキーボードと連動してステイタスが変化しますでしょうか？

### Answer:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されている PC の OS 設定と連動します。独立して個別にステイタスは保持しません。

### Question:

キーを押しっぱなしにした際にキーを連続して出力するキーリピートは行なえますか？

### Answer:

設定可能です。初期値はキーリピートが OFF になっているので、設定の変更が必要です。

[III-2-6. Keyboard settings](#)を参考にして下さい。

**Question:**

キーボードのキーを押した時になる“ピッ”音を出すか出さないかの設定は行えますか？

**Answer:**

設定可能です。初期値はキー押下音が ON になっているので、設定の変更が必要です。

[Ⅲ-2-6. Keyboard settings](#)を参考にしてください。

**Question:**

キーボードをパソコンに USB 接続した際に”ピー”の音を出すか出さないか設定は行えますか？

**Answer:**

設定可能です。初期値はパワーオン音が OFF になっているので、設定の変更が必要です。

[Ⅲ-2-6. Keyboard settings](#)を参考にしてください。

**Question:**

常に半角英数として文字列を出力したいのですが、可能ですか？

**Answer:**

対応しておりません。キーボードは使用している OS の設定に準拠して動作しているため、常に半角を出力するというのは難しいです。

**Question:**

ノートパソコンの [Fn キー] の設定は可能ですか？

**Answer:**

非対応です。Fn キーは、メーカーによって設定が異なり、そのキーコードの設定内容も特殊の場合が多いため、当該キーボードのソフトウェアでは非対応とさせていただいております。

**Question:**

キー設定で Pause キーの設定後に他のキーを設定しようとする、ポップアップが表示されて pause 以降の設定ができません。

**Answer:**

製品の仕様です。pause キーは特殊なキーで、pause 後に他のキー入力を想定しされていないため、pause 以降はキー設定ができません。

## VI. 保証事項

### VI-1. 保証期間

- ・保証期間は納品日より1年間とします。但し、外観に関するキズ等による不具合は納品日より1ヶ月とします。
- ・保証期間内に正常な使用状態に於いて故障した場合は製品解析を行い、弊社起因による不良と判断された場合にのみ交換または修理を致します。

### VI-2. 保証対象

- ・保証対象は納入品のみを対象とします。納入品の故障により誘発される損害は対象とされません。また、現地における製品修理・交換は行いません。
- ・納期延滞や不具合による対応はできる限り敏速に対応しますが、生産ラインの保証や損害は致し兼ねます。

### VI-3. 有償保証

- ・保証期間を過ぎた製品は有償での保証と致します。
- ・以下の場合は保証期間内におきましても有償保証となります。
  - ①取扱不備による落下等の衝撃により生じた故障
  - ②天災、火災により生じた故障
  - ③製品が組み込まれている(または接続されている)他部品や機器に起因して生じた故障
  - ④改造・分解により生じた故障
  - ⑤コーヒーマシンやジュース等水分の浸入により生じた故障

### VI-4. 仕様変更

- ・キーボードは標準品の為、機能に影響を及ぼさない範囲で事前告知無く仕様を変更する場合がございます。